

泉大津市文化財調査報告23

# 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報11

1993・3

泉大津市教育委員会



泉大津市文化財調査報告23

# 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報11

1993・3

泉大津市教育委員会

## 例 言

1. 本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内について、開発行為に先立って実施した発掘調査記録である。
2. 本調査は、泉大津市が国庫補助事業及び、大阪府補助事業（総額1,500,000、国庫補助率50%、府補助率25%、市負担率25%）として、計画・実施した。
3. 本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長	藤原 勇三
調査担当者	泉大津市教育委員会社会教育課	坂口 昌男 虎間 麻実
調査員		辻川 陽一 佐野みゆき

事務局 泉大津市教育委員会社会教育課
4. 本事業は、平成4年度事業として、平成4年4月1日に着手して、平成5年3月31日に完了した。
5. 本書の執筆・編集は虎間が行った。

# 目 次

第1章 埋蔵文化財調査の状況	1
第2章 発掘調査報告	8
1. 池上曾根遺跡	8
2. 豊中遺跡	11
3. 虫取遺跡	18
4. 板原遺跡	25
5. 池浦遺跡	28
6. 穴師遺跡	35
7. 七ノ坪遺跡	37
8. 東雲遺跡	40
挿 図	
第1図 遺跡分布図	7
第2図 池上曾根遺跡調査地点図	8
第3図 池上曾根遺跡第1地点掘削位置図	9
第4図 池上曾根遺跡第1地点南壁断面図	9
第5図 池上曾根遺跡第2地点掘削位置図	10
第6図 池上曾根遺跡第2地点南壁断面図	10
第7図 豊中遺跡調査地点図	11
第8図 豊中遺跡第1地点掘削位置図	12
第9図 豊中遺跡第1地点東壁断面図	12
第10図 豊中遺跡第2地点掘削位置図	13
第11図 豊中遺跡第2地点南壁断面図	13
第12図 豊中遺跡第3地点掘削位置図	14
第13図 豊中遺跡第3地点北壁断面図	14
第14図 豊中遺跡第4地点掘削位置図	15
第15図 豊中遺跡第4地点南壁断面図	15
第16図 豊中遺跡第5地点西壁断面図	16
第17図 豊中遺跡第5地点掘削位置図	16
第18図 豊中遺跡第6地点掘削位置図	17
第19図 豊中遺跡第6地点北壁断面図	17

第20图	虫取遺跡調査地点図	18
第21图	虫取遺跡第1地点掘削位置図	19
第22图	虫取遺跡第1地点北壁断面図	19
第23图	虫取遺跡第2地点掘削位置図	20
第24图	虫取遺跡第2地点西壁断面図	20
第25图	虫取遺跡第3地点掘削位置図	21
第26图	虫取遺跡第3地点北壁断面図	21
第27图	虫取遺跡第4地点掘削位置図	22
第28图	虫取遺跡第4地点西壁断面図	22
第29图	虫取遺跡第5地点掘削位置図	23
第30图	虫取遺跡第5地点西壁断面図	23
第31图	虫取遺跡第6地点掘削位置図	24
第32图	虫取遺跡第6地点北壁断面図	24
第33图	板原遺跡調査地点図	25
第34图	板原遺跡第1地点南壁断面図	25
第35图	板原遺跡第1地点掘削位置図	26
第36图	板原遺跡第2地点掘削位置図	26
第37图	板原遺跡第2地点西壁断面図	27
第38图	板原遺跡第3地点掘削位置図	27
第39图	板原遺跡第3地点西壁断面図	27
第40图	池浦遺跡調査地点図	28
第41图	池浦遺跡第1地点掘削位置図	29
第42图	池浦遺跡第1地点西壁断面図	29
第43图	池浦遺跡第2地点掘削位置図	30
第44图	池浦遺跡第2地点南壁断面図	30
第45图	池浦遺跡第3地点掘削位置図	31
第46图	池浦遺跡第3地点北壁断面図	31
第47图	池浦遺跡第4地点掘削位置図	32
第48图	池浦遺跡第4地点北壁断面図	32
第49图	池浦遺跡第5地点掘削位置図	33
第50图	池浦遺跡第5地点南壁断面図	33
第51图	池浦遺跡第6地点掘削位置図	34
第52图	池浦遺跡第6地点北壁断面図	34

第53図	穴師遺跡調査地点図	35
第54図	穴師遺跡第1地点掘削位置図	36
第55図	穴師遺跡第1地点北壁断面図	36
第56図	七ノ坪遺跡調査地点図	37
第57図	七ノ坪遺跡第1地点掘削位置図	38
第58図	七ノ坪遺跡第1地点南壁断面図	38
第59図	七ノ坪遺跡第2地点南壁断面図	39
第60図	七ノ坪遺跡第2地点掘削位置図	39
第61図	東雲遺跡調査地点図	40
第62図	東雲遺跡第1地点掘削位置図	41
第63図	東雲遺跡第1地点南壁断面図	41

## 挿表

表1	遺跡別届出件数	1
表2	遺跡別調査件数	2
表3	平成4年度調査一覧表	2
表4	平成3年度調査一覧表(追加分)	6

## 図版

1	池上曾根遺跡第1地点調査址	池上曾根遺跡第2地点調査址
2	豊中遺跡第1地点調査址	豊中遺跡第2地点調査址
3	豊中遺跡第3地点調査址	豊中遺跡第4地点調査址
4	豊中遺跡第5地点調査址	豊中遺跡第6地点調査址
5	虫取遺跡第1地点調査址	虫取遺跡第2地点第1トレンチ
6	虫取遺跡第3地点調査址	虫取遺跡第4地点調査址
7	虫取遺跡第5地点第1トレンチ	虫取遺跡第5地点第2トレンチ
8	虫取遺跡第6地点調査址	板原遺跡第1地点調査址
9	板原遺跡第2地点調査址	板原遺跡第3地点調査址
10	池浦遺跡第1地点調査址	池浦遺跡第2地点調査址
11	池浦遺跡第3地点調査址	池浦遺跡第4地点調査址
12	池浦遺跡第5地点調査址	池浦遺跡第6地点調査址
13	穴師遺跡第1地点第1トレンチ	穴師遺跡第1地点第2トレンチ
14	七ノ坪遺跡第1地点調査址	東雲遺跡第1地点調査址

## 第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

平成4年度における埋蔵文化財発掘届出の件数及び調査件数は、表1、2のとおりである。届出件数は、平成5年1月31日現在で192件で、ここ数年来の大幅な増加がみられる。特に、平成4年4月～7月の4ヶ月間での届出件数は104件にのぼる。工事種別の比率は、個人住宅建設関連工事の合計が76%（前年79%）と、全体の3/4以上を占める等、前年とほぼ同様である。

本年度の特徴は、共同住宅建設・その他建物の建設の増加により、これらの割合が届出件数全体の13%に達することである。共同住宅建設は、豊中遺跡・虫取遺跡で比較的多くみられ、そのほとんどが畑地及び水田からの転用となっている。これらは、発掘調査に至ることが多く、本書掲載の約30%は共同住宅建設に伴う調査報告である。その他建物の内容は、遊技場、駐車場等で近年になく多岐にわたっている。

平成4年前半の届出件数の増加傾向とは反対に、10月以降4ヶ月間での件数は前半の約半分、平成5年に入ってもこの傾向は続くものと思われ、届出件数の減少に伴い、調査件数も減少することは必至である。

表1 遺跡別届出件数

(平成4年4月1日～平成5年1月31日)

遺跡名	件数	内訳						
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工場・倉庫	店舗・事務所	共同住宅	その他
池上曾根遺跡	25	9	13				3	
豊中遺跡	49	13	22	4		6	2	2
虫取遺跡	34	3	13	6	5	1	3	3
大園遺跡	6	1	4			1		
板原遺跡	14	2	7		2	1	1	1
池浦遺跡	34	2	19	6	1	2	4	
穴師遺跡	7	1	3				2	1
七ノ坪遺跡	6	1	2			2		1
東雲遺跡	11	4	3	2				2
穴田遺跡	7	3	4					
森遺跡	1		1					
真鍋城跡	1						1	
計	195	39 (20%)	91 (47%)	18 (9%)	8 (4%)	13 (7%)	16 (8%)	10 (5%)

表2 遺跡別調査件数

(平成4年4月1日～平成5年1月31日)

遺跡名	件数	内訳		
		発掘調査	立会調査	慎重工事
池上曾根遺跡	9	1	8	
豊中遺跡	22	6	11	5
虫取遺跡	17	6	6	5
大園遺跡	2		2	
板原遺跡	4	2	2	
池浦遺跡	18	6	6	6
穴師遺跡	3	1	2	
七ノ坪遺跡	2	1	1	
東雲遺跡	6	1	3	2
穴田遺跡	1		1	
計	84	24	42	18

表3 平成4年度調査一覧表

(平成4年4月1日～平成5年1月31日)

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考(調査番号)
4・8	豊中 <sup>251-1</sup> 253-1	豊中遺跡	立会調査	店舗建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・9	池浦町4丁目315-8	池浦遺跡	発掘調査	上構建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器・瓦器検出。(9208)
4・14	池浦町4丁目272-3	池浦遺跡	発掘調査	個人住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器検出。(9209)
4・16	池浦町2丁目485-1、-3、-4、-5、 6、8、9 439-1、-3、-4、 -10、11	虫取遺跡	発掘調査	都市計画道路建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9210)
4・23	宮町29-1	池浦遺跡	発掘調査	工場建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器・瓦器検出。(9211)
4・28	豊中440	豊中遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9212)
5・3	池浦町4丁目315-8 の一部	池浦遺跡	立会調査	給排水管理施設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
5・25	森町2丁目227-60	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、草叢は盛土内におさまっていた。

月 日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考(調査番号)
5・25	曾根町1丁目 <sup>11-16</sup> 12-33	池上曾根遺跡	立会調査	水道管理設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
5・28	我孫子608-2	板原遺跡	発掘調査	作業場付き住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9213)
6・1	宇多1046-42	虫取遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・5	我孫子608-1	板原遺跡	発掘調査	工場付き住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器検出。(9214)
6・8	下条町614-38	東雲遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・9	我孫子608-1	板原遺跡	立会調査	ガス管理設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
6・11	豊中663-1の一部	豊中遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9215)
6・12	尾井千原町 <sup>137-14</sup> 133-8	大岡遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
6・22	森町2丁目257	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・3	虫取 <sup>44-1</sup> 45-1	虫取遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9216)
7・3	下条町614-86	東雲遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・7	豊中409-1の一部	豊中遺跡	発掘調査	個人住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器検出。(9217)
7・8	池浦町3丁目190-1	池浦遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9218)
7・9	我孫子215	虫取遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器・瓦器検出。(9219)
7・13	虫取12-1	虫取遺跡	発掘調査	倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9220)
7・21	池浦町2-7	池浦遺跡	発掘調査	事務所建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9221)
7・23	東豊中町1丁目 <sup>101-6</sup> 101-7	豊中遺跡	立会調査	給水管理設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
7・28	東雲町 <sup>72-1</sup> 72-2	東雲遺跡	発掘調査	遊技場建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9222)
7・30	豊中町663-1の一部	穴師遺跡	立会調査	給水管理設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。

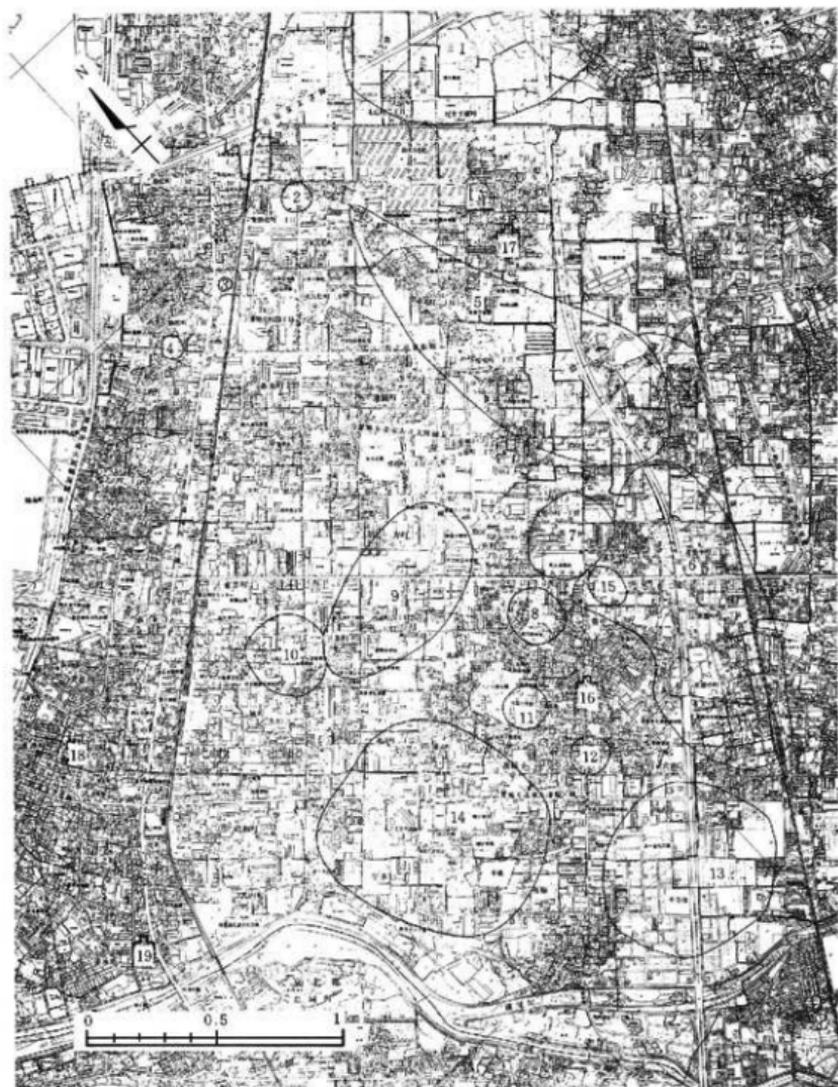
月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考(調査番号)
7・30	下条町10-4	池浦遺跡	立会調査	ガス管入れ管工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
7・31	宮町29-1の一部	池浦遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
8・5	池浦町2-7	虫取遺跡	立会調査	給排水管理設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
8・17	北豊中町1丁目612-4	七ノ坪遺跡	発掘調査	店舗付き住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9223)
8・22	豊中252-1 253-1の一部	豊中遺跡	立会調査	給排水管理設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
8・24	豊中409-1の一部	豊中遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
8・28	豊中955-6	豊中遺跡	発掘調査	飲食店建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9224)
8・28	池浦町2丁目586	虫取遺跡	立会調査	給排水管理設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
8・31	東豊中町1丁目86-3 96-5	豊中遺跡	立会調査	住宅建設工事にによる掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・1	豊中444-1の一部	豊中遺跡	発掘調査	飲食店建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9225)
9・2	北豊中町2-986-18 の一部	豊中遺跡	発掘調査	事務所及び倉庫付き住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。(9226)
9・5	東豊中町1-68-1	豊中遺跡	立会調査	車庫及び倉庫建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・8	虫取81、83-1 池浦62	虫取遺跡	発掘調査	工場建設工事による先立つ調査で、断面で溝状遺構確認。土器器検出。(9227)
9・16	宮町29の一部	池浦遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
9・18	北豊中町2丁目984-23	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・21	北豊中町2丁目988-6	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・25	曾根町1丁目96-1	池上曾根遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9228)
10・1	虫取66-1 66-24	虫取遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
10・8	北豊中町2丁目982-1 の一部	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事にによる掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。

月 日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考(調査番号)
10・9	千原町2丁目102-10	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
10・13	千原町2丁目7-1	池上曾根遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は表土内におさまっていた。
10・17	豊中276-2	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
10・23	豊中956-3	豊中遺跡	発掘調査	事務所建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9229)
10・27	我孫子 <sup>230-2、-3</sup> 231-1	虫取遺跡	発掘調査	資倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9230)
11・2	豊中276-2	豊中遺跡	立会調査	ガス管腐食予防工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
11・9	我孫子 <sup>299-1</sup> 300-3の各一部	虫取遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
11・19	池浦町4丁目 <sup>183-5</sup> 184	池浦遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9231)
11・24	北豊中町2丁目506-3	七ノ坪遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・2	東広町 <sup>332-21</sup> 334-16の各一部	大岡遺跡	立会調査	事務所建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・3	舟町 <sup>409-1</sup> 411-1の各一部 35-1	池浦遺跡	立会調査	店舗建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・11	豊中954-6	豊中遺跡	立会調査	給排水管理施設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・15	池浦町5丁目 <sup>436-1</sup> 436-2 437	穴師遺跡	発掘調査	職員寮建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9232)
12・18	虫取 <sup>44-1</sup> 45-1	虫取遺跡	立会調査	水道管取り付け工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
1・11	池浦町4丁目315	池浦遺跡	立会調査	排水管理施設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
1・16	豊中 <sup>687-2</sup> 687-3 689-3	穴師遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
1・19	森町2丁目11-46	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
1・26	東富町48の一部	東雲遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
1・27	豊中840-2	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。

表4 平成3年度調査一覧表(追加分)

(平成4年2月1日～平成4年3月31日)

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考(調査番号)
2・5	我孫子626、627	板原遺跡	発掘調査	事務所付き倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9204)
2・17	森町2丁目195-1の一部	池上曾根遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9205)
2・25	北豊中町2丁目 <sup>510-1</sup> <sub>512-1の一部</sub>	七ノ坪遺跡	発掘調査	事務所付き貸倉庫建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9206)
2・25	池浦町2丁目 <sup>433-1、-3、-4</sup> <sub>485-5の一部</sub>	虫取遺跡	立会調査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
3・11	下京町254-11	池浦遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・13	曾根町2丁目201-4	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・17	末広町1丁目328-14	大園遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・23	豊中町115-18	豊中遺跡	立会調査	給油所建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
3・24	<sup>77-1の一部</sup> <sub>宇多78の一部</sub>	虫取遺跡	発掘調査	工場建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土壌器検出。(9207)
3・24	北豊中町986-32	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・27	森町2丁目 <sup>132-9、-11</sup> <sub>133-4、-9</sub>	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。

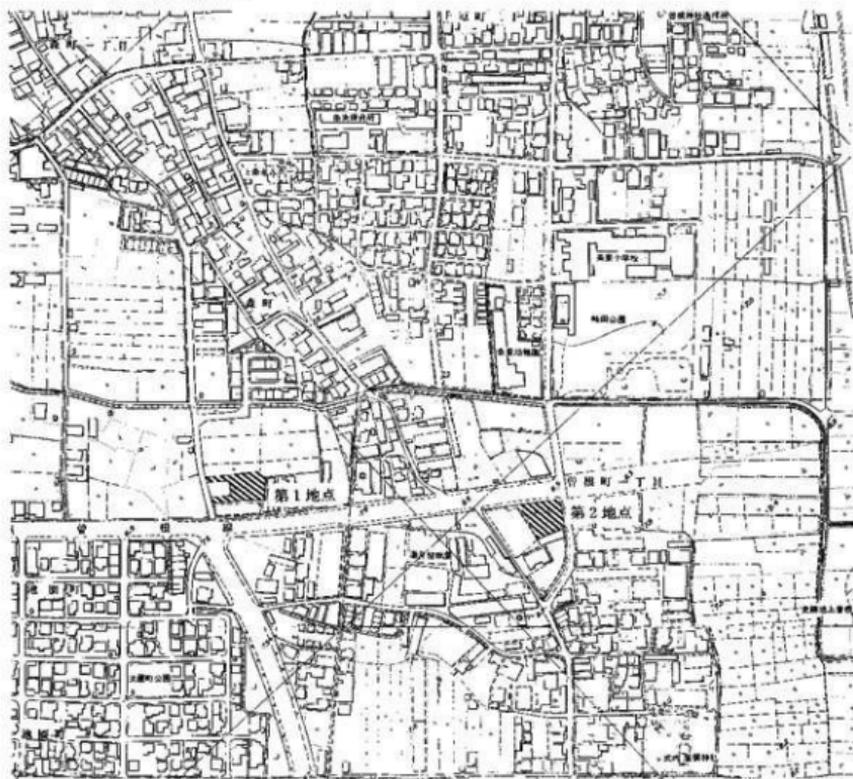


- 1.大園遺跡 2.森遺跡 3.牛滝塚 4.助松遺跡 5.池上曾根遺跡 6.豊中遺跡 7.七ノ坪遺跡  
 8.穴師遺跡 9.池浦遺跡 10.東雲遺跡 11.穴師薬師寺跡 12.穴田遺跡 13.板原遺跡 14.虫取遺跡  
 15.大福寺跡 16.荊田城跡 17.千原城跡 18.真築城跡 19.城の山

第1図 遺跡分布図

## 第2章 発掘調査報告

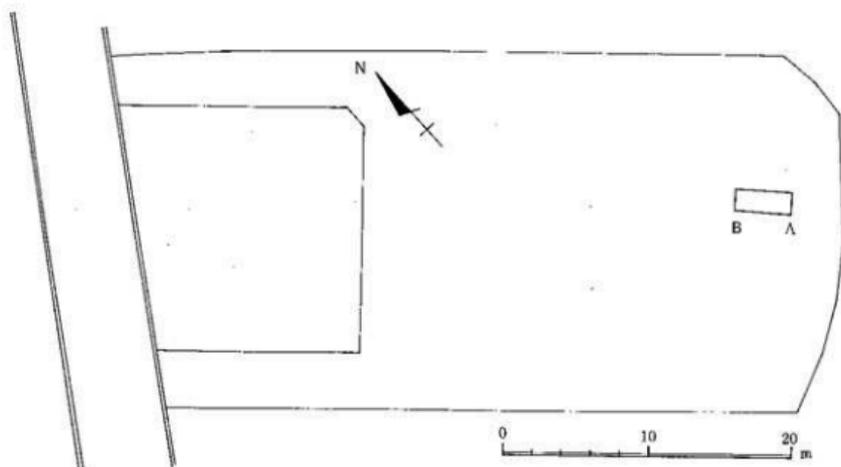
### 1 池上曾根遺跡



第2図 池上曾根遺跡調査地点図(1:5,000)

#### 第1地点(森町2丁目195-1の一部 調査番号9205)

本調査地点は池上曾根遺跡の西端に位置し、府道松之浜曾根線の北側に接する。松之浜曾根線は平成2年に開通以来、周辺地域の主要道路として使用されている。そのため、前年度より本線周辺部の開発が増加し、本年度の調査地点は2箇所とも、本線に接する地域である。

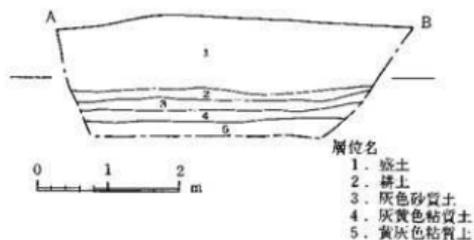


第3図 池上曾根遺跡 第1地点 掘削位置図

今回の調査は、共同住宅建設工事による事前発掘調査である。調査坑は、敷地の北端に、幅1.5m、長さ5.0m、深さ1.6mの規模で設定した。掘削はまず重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査坑の基本的な層序は、上部から、盛土（1層）約100cm、耕土（2層）約12cm、灰色砂質土（3層）約14cm、灰黄色粘質土（4層）約14cm、黄灰色粘質土（5層）に至る。遺構及び遺物は全く認められない。

建物基礎部分は約50cmと浅く、盛土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第4図 池上曾根遺跡 第1地点 南壁断面図

## 第 2 地 点 (曾根町1丁目96-1 調査番号9228)

第1調査地点同様、府道松之浜曾根線に接し、同線の南側に位置する。

今回は、共同住宅建設工事に先立ち調査を実施した。

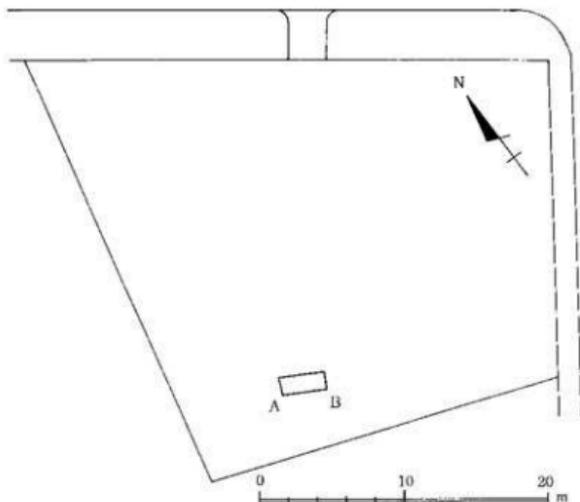
敷地の西端に幅1.1m、長さ3.0m、深さ0.9mの規模で調査坑を設定し、掘削はまず、重機で行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査坑の層序は、耕土(1層)約20cm、茶灰色細砂(2層)約10cm、茶灰色砂礫(6層)約20cm、茶褐色細砂(7層)約12cm、茶灰色粗砂(4層)10~30cm、茶色粗砂(5層)に至る。

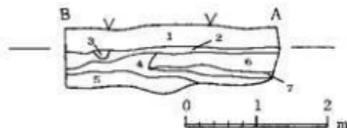
耕土除去後、第2層を掘り込むピットの断面が認められた。断面での径は約20cm、深さ約12cmである。ピット内の埋土は灰色粘砂(3層)で、遺物は含まない。

第2層以下は茶色を基調とする砂層が続き、第4層から湧水がみられる。府道の南側は砂礫層の堆積が広範囲にわたり確認されており、当該地の砂礫もその一連の堆積と思われる。

ピットが断面で確認されたが、遺物は認められず、建物基礎部分は盛土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成し、本調査をもって終了した。



第5図 池上曾根遺跡 第2地点掘削位置図

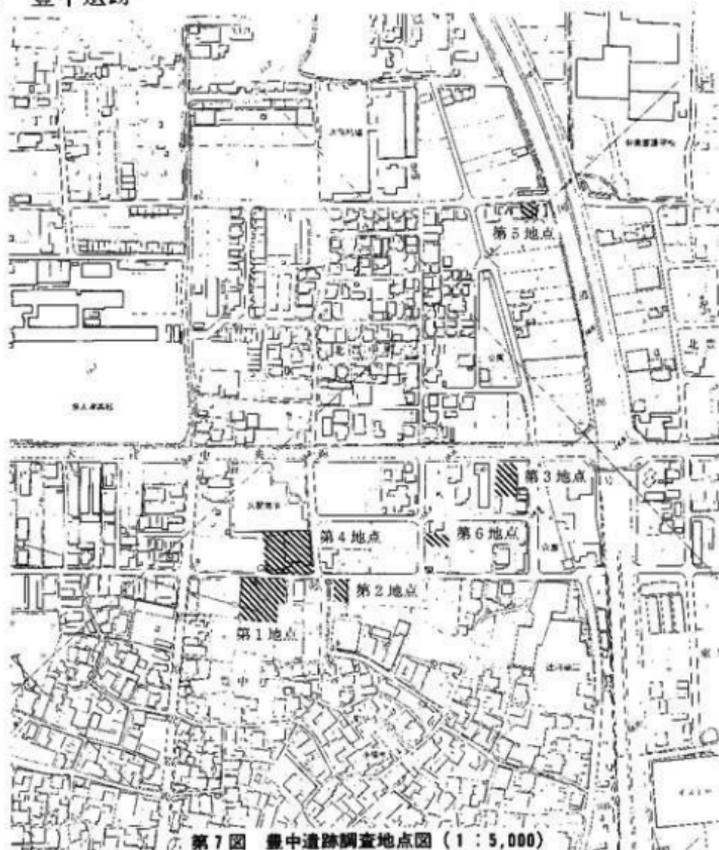


層位名

1. 耕土
2. 茶灰色細砂 (部分的に茶灰色粘質土を含む)
3. 灰色粘砂
4. 茶灰色粗砂
5. 茶色粗砂
6. 茶灰色砂礫 (φ1.0cm程度の角礫を多く含む)
7. 茶褐色細砂

第6図 池上曾根遺跡 第2地点 南壁断面図

## 2 豊中遺跡



### 第1地点 (豊中440 調査番号9212)

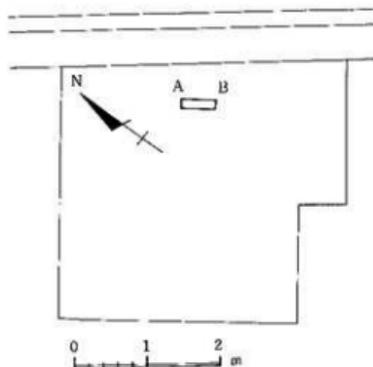
本調査地点は、豊中遺跡の西端に位置する。本調査地点周辺は、市内においても比較的知地・水田等の多い地域であるが、近年、店舗や共同住宅への転用が目立ってきた地域であるといえる。当該地の隣接地では、前年度に職員寮の建設が予定され、それに伴い、原因者負担により敷地全体にわたる発掘調査が実施された。その結果、数箇所で井戸等が確認され、付近にも関連の遺構の存在が予想された。

今回は、本調査地点で共同住宅の建設が予定されたため、それに先立ち調査を実施した。

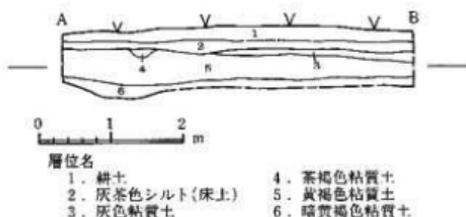
敷地中央部から東寄りに、幅1.2m、長さ4.9m、深さ0.8mの規模で調査坑を設定し、まず重機で掘削を行い、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査坑での層序は、上部から、耕土(1層)約20cm、灰茶色シルト(2層)(床土)約12cm、灰色粘質土(3層)平均約10cm、黄褐色粘質土(5層)約18~48cm、暗黄褐色粘質土(6層)に至る。西側で、第2層の下層に茶褐色粘質土(4層)が一部分みられるが、遺物等は含まれず、ビットであるかどうかは確認できない。

遺構・遺物ともに検出されず、建物基礎部分も盛土内におさまることを確認して、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



第8図 豊中遺跡 第1地点掘削位置図



第9図 豊中遺跡 第1地点 東壁断面図

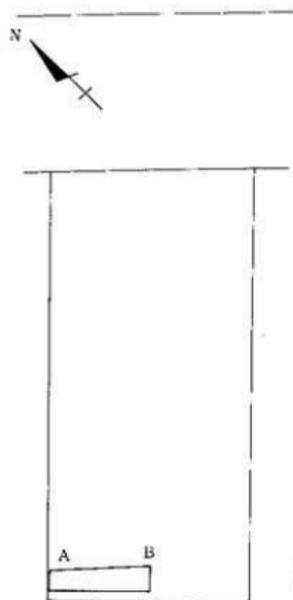
## 第2地点 (豊中407-11の一部 調査番号9217)

第1調査地点の西約80mに位置する。個人住宅建設工事に先立つ調査である。

敷地の西端に幅約1.0m、長さ約3.1m、深さ約0.6mの規模の調査坑を重機で掘削し、その後人力により壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査坑の層序は、調査区中央より東では、耕土(1層)約20cm、褐色シルト(2層)約3~13cm、灰色シルト(3層)の順にはほぼ水平な堆積がみられるが、西では、1層直下から、灰色及び褐色を基調とする砂層(4層~10層)が交互にみられ、河川状の堆積を示す。河川状堆積の幅は、調査地区外に延びるため不明であるが、検出面における深さは約50cm前後と推定できる。

当該地付近は、南北方向の流れをもつ砂層が広く堆積する地域で、本調査地地でみられる堆積もこの砂層上に位置するものであろう。



第10図 豊中遺跡 第2地点掘削位置図

8層から土師器片を検出したが、小破片のため  
図示し得ない。

建物基礎部分も約40cmと浅いため、写真撮影及  
び断面図を作成して調査を終了した。



第11図 豊中遺跡 第2地点 南壁断面図

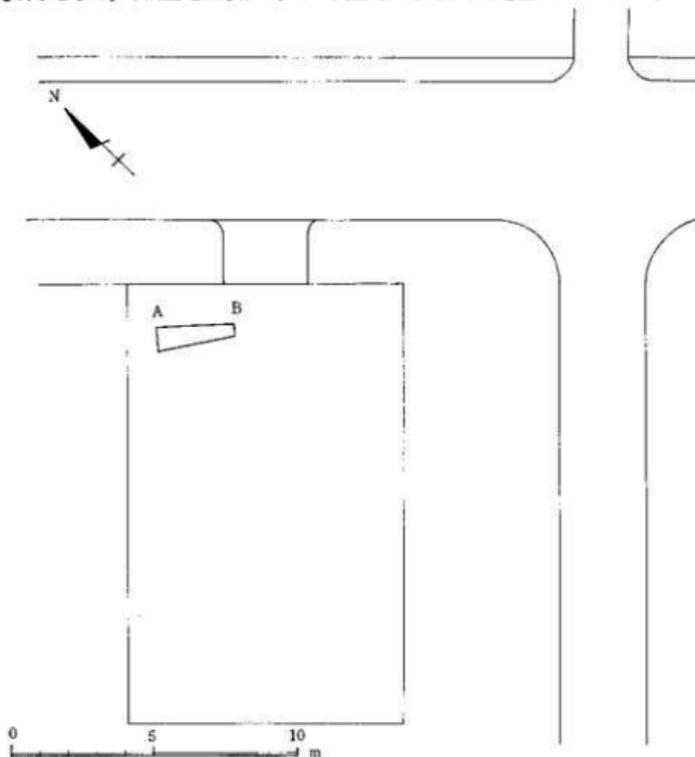
### 第 3 地 点 (豊中955-6 調査番号9224)

本調査地点は豊中遺跡の中央よりやや北側に位置し、北側に炭火津中央線、約150m東側では  
国道26号線に接する。当該地で、飲食店建設が予定されたため工事に先立ち調査を実施した。

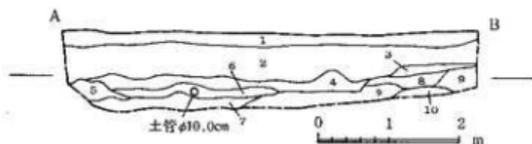
調査坑は敷地の北端に、幅約0.9~1.6m、長さ約5.8m、深さ約1.1mの規模で重機により掘削  
し、その後人力で、壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

基本的な層序は、表土(1層)約20cm、区画整理時盛土(2層)約25~50cm、黒灰色土(4層)(旧  
耕土)平均約20cm、かまは水平に堆積し、以下、西側では、茶褐色粘質土(5層)平均約20cm、灰  
白色砂質土(6層)約18cm、灰白色粘質土(7層)に至る。東側では、旧耕土は確認できず、灰色微  
砂(8層)、平均約12cm、灰茶色微砂(9層)、灰色粗砂(10層)といった灰色を基調とした砂層の堆  
積が認められる。いずれの層もわずかであるが隆起がみられ、同系色の砂層、粘土層の交互堆積  
がみられる。

灰茶色微砂より湧水が激しく、遺構及び遺物は認められない。写真撮影及び断面図を作成して調査を終了とした。本調査地点も第1、第2調査地点と同じ砂礫層上に位置すると思われる。



第12図 壘中遺跡 第3地点掘削位置図



層位名

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 表土        | 6. 灰白色砂質土 |
| 2. 区画整理時盛土   | 7. 灰白色粘質土 |
| 3. 茶灰色砂礫     | 8. 灰色微砂   |
| 4. 黒灰色土(旧耕土) | 9. 灰茶色微砂  |
| 5. 茶褐色粘質土    | 10. 灰色粗砂  |

第13図 壘中遺跡 第3地点 北壁断面図

#### 第 4 地 点 (豊中444-1の一部 調査番号9225)

本調査地点の南側には、第1調査地点及び第2調査地点が位置する。

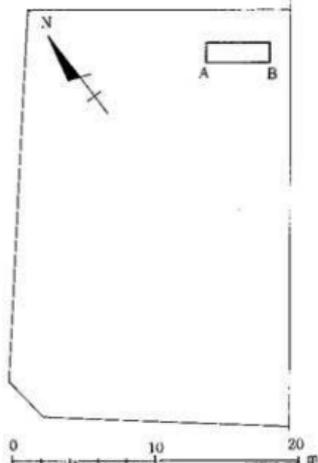
今回は、本調査地点で、飲食店舗の建設が予定されたため、それに先立ち発掘調査を実施した。まず、重機にて、敷地の東端に幅1.3m、長さ4.5m、深さ1.2mの規模で調査坑を掘削し、その後、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察による調査を実施した。

調査坑での層序は、盛土(1層)約80cm、耕土(2層)約18cm、の2層はほぼ平行な堆積がみられるが、以下は、茶灰色砂質土(4層)(床土)中に、青灰色粘質土(3層)が、ブロック状に入った堆

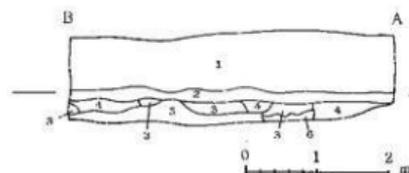
積を示す。続いて、東端では、茶灰色土(5層)、淡青灰色土(6層)に至る。5層及び6層とも粗砂を含む。遺構及び遺物は確認できない。建物の基礎掘削深度が、約1.0mで、床土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。

本調査地点周辺部は、範囲は限られているが、発掘調査が集中して行われている地域である。現在までの調査結果を総合すると、遺構の存在は本調査地点北西側の半径約50mの範囲に限定されているようである。また、北東側にも若干の遺構は確認されているが、北西側でみられるものより密度が低い。

また、目立った遺構としては、13～14世紀の瓦器を伴う井戸が数基みられるが、いずれも南北方向の流れをもつ砂礫層付近に位置するものである。



第14図 豊中遺跡 第4地点掘削位置図



- 層位名
- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1. 盛土     | 4. 茶灰色砂質土(床土)  |
| 2. 耕土     | 5. 茶灰色土(粗砂含む)  |
| 3. 青灰色粘質土 | 6. 淡青灰色土(粗砂含む) |

第15図 豊中遺跡 第4地点 南壁断面図

## 第 5 地 点 (北豊中町 2-986-18の一部 調査番号9226)

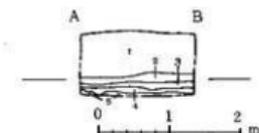
豊中遺跡の北部に位置し、東側では国道26号線に接する。数年前までは、本調査地点周辺は、そのほとんどが畑地及び水田であったが、ここ数年、国道26号線の交通量の増加に伴い比較的大型の店舗への転用が目立つ地域である。

今回は、当該地で、事務所及び倉庫付き住宅建設工事が予定されたため、それに先立って調査を実施した。

敷地の南端に、重機にて、幅1.0m、長さ1.6m、深さ0.8mの規模の調査坑を掘削し、その後、人力にて壁面及び床面を削り、断面及び床面観察を中心とする調査を実施した。

調査坑の層序は、上部より、盛土(1層)約60cm、耕土(2層)約18cm、茶褐色土(3層)(床土)約18cm、茶褐色土(4層)約10cm、茶灰色粘質土(5層)に至り、全体にはほぼ水平な堆積を示す。

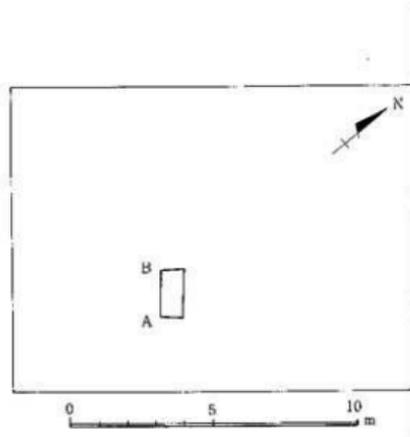
遺構・遺物は認められず、建物基礎部分の掘削深度も浅いため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



層位名

1. 盛土
2. 耕土
3. 茶褐色土(床土)
4. 茶灰色土
5. 茶灰色粘質土

第16図 豊中遺跡  
第5地点 西壁断面図



第17図 豊中遺跡 第5地点掘削位置図

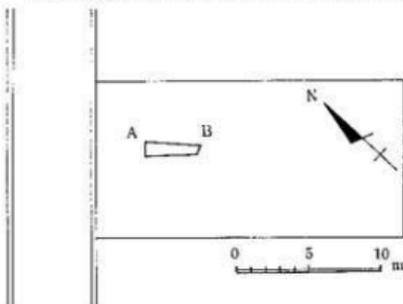
## 第 6 地点 (豊中956-3 調査番号9229)

豊中遺跡の西端に位置し、約50m東には第3調査地点が存する。当該地南隣では、前年度の調査で、鋤溝、ピット等を確認している。今回は、当該地で事務所建設工事が予定されたためそれに先立ち発掘調査を実施した。

敷地の中央よりやや西に幅1.0m、長さ3.8m、深さ0.8mの規模の調査坑を設定し、まず、重機にて掘削を行った。その後、人力により壁面及び床面を削り、断面・床面の観察による調査を実施した。

調査坑の層序は、表土(1層)約20cm、黄茶褐色土(2層)(攪乱)、黄色土(3層)(盛土)、茶褐色粘質土(4層)に至る。東側では、3層の下層に、粗砂及び直径約3.0cmの円礫を含む茶色土(5層)がみられる。

4層は遺物包含層で、土師器片を含む。前年度調査地点では、この層をベースとして南北方向



第18図 豊中遺跡 第6地点掘削位置図

に走る数条の鋤溝を検出している。しかし、当該調査地点では、この層は敷地の西側部分にのみ限られ、鋤溝等の遺構は確認できない。

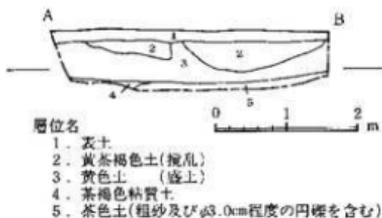
4層に含まれる土師器も小破片で図示し得ない。

敷地の多くの部分は、3層下層の5層の様な砂礫層が広くみられるようである。

建物基礎部分は、3層の盛土内におさまるので、写真撮影及び、断面図を作成して、調査を終了した。

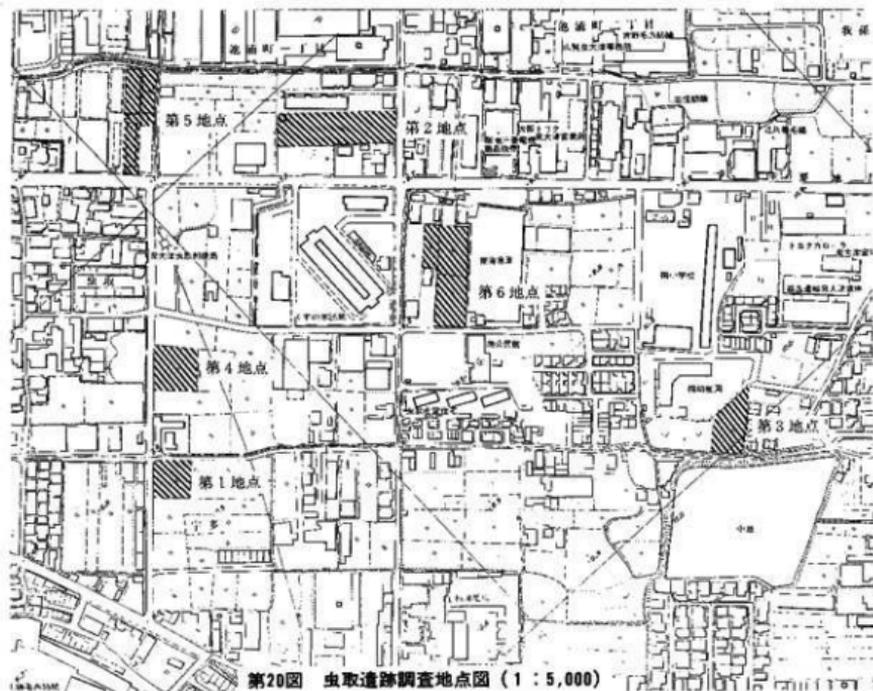
本調査地点周辺は、比較的多く畑地も残り、まとまった面積での調査も予想される。

本調査地点の南隣の遺構がどのような広がりを持つかは、今後の調査が待たれる。



第19図 豊中遺跡 第6地点 北壁断面図

### 3 虫取遺跡



第20図 虫取遺跡調査地点図 (1 : 5,000)

#### 第 1 地点 (宇多77-1の一部、78の一部 調査番号9207)

本年度は当遺跡内で6件の発掘調査を実施した。前年度は当遺跡内での調査は皆無であったが本年度になって急増し、特に、畑地・水田から工場・共同住宅等といった個人住宅以外の建物への転用が目立つ。こういった現象は当遺跡以外では、豊中遺跡で顕著にみられるが、両遺跡ともに、古くからの住宅地域と、近年開発された住宅地域との狭間に、市域内では、比較的多くの農地が残されているという共通点がある。

しかし、いずれの場合も、敷地面積は広いが、建物基礎掘削部分が比較的浅く、6件とも敷地全域にわたる調査には至らず、トレンチ掘り程度の子備調査で終了している。当遺跡内でも、遺構が確認された地点は、わずか1件である。

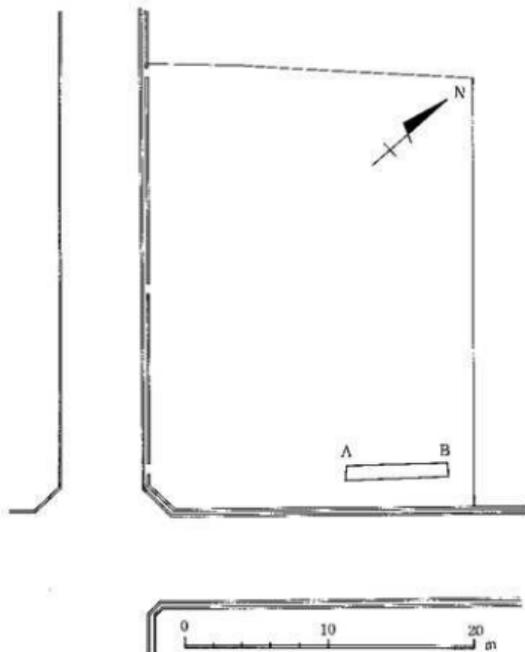
当該地は、虫取遺跡の西端に位置し、約400m東には虫取市営住宅が存する。今回は、本調査

地点で工場建設工事が予定されたため、それに先立ち調査を実施した。

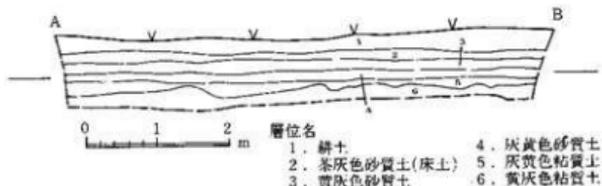
敷地の東端に、まず、重機で、幅1.1m、長さ6.8m、深さ1.0mの規模で調査坑を掘削し、その後、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

調査坑の層序は、上部から耕土(1層)約20cm、茶灰色砂質土(2層)(床土)約8cm、黄灰色砂質土(3層)約16cm、灰黄色砂質土(4層)約18cm、灰黄色粘質土(5層)平均約16cm、黄灰色粘質土(6層)に至る。6層はやや隆起がみられる。4層から磨滅した土師器及び、瓦器片等を検出したが、いずれも小破片で図示し得ない。

遺物はわずかに検出したが、遺構は確認できず、建物基礎部分の掘削深度も50~60cmと浅いため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



第21図 虫取遺跡 第1地点掘削位置図



第22図 虫取遺跡 第1地点 北壁断面図

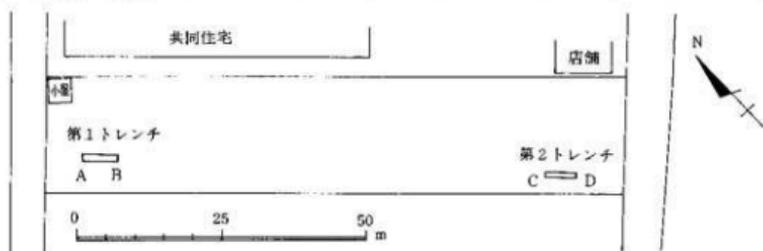
## 第 2 地 点 (虫取44-1、45-1 調査番号9216)

虫取遺跡の中央よりやや北側に位置する。共同住宅建設工事に先立つ調査である。

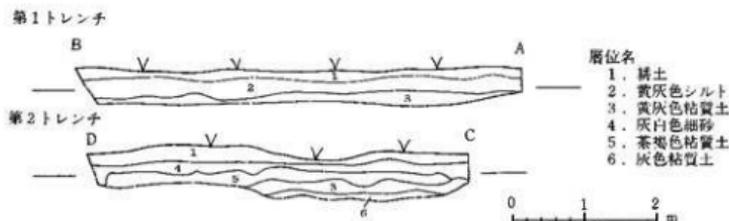
敷地の西端に重機にて、幅0.9m、長さ6.0m、深さ0.4mの規模の調査坑を掘削し、第1トレンチとする。このトレンチから約70m東へ、同じく重機にて、幅0.8m、長さ5.2m、深さ0.6mの規模の調査坑を設定し、これを第2トレンチとする。両トレンチとも、人力で壁面及び床面を掘削し、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

第1トレンチの層序は、上層より、耕土(1層)約12cm、黄灰色シルト(2層)約20cmで黄灰色粘質土(3層)に至る。第2トレンチの層序は、上層より、耕土(1層)平均約16cm、灰白色細砂(4層)平均約16cm、茶褐色粘質土(5層)約20cmに続き、第1トレンチでみられた3層が堆積し灰色粘質土(6層)に至る。第2トレンチから湧水がみられる。

本調査地点付近の田畑表面では、遺物の散布が確認できるが、トレンチ調査を実施すると、遺物及び遺構を確認できない場合が多く、今回の調査でも、両トレンチとも遺構及び遺物は確認できない。建物基礎部分は盛土内におさまるため、写真撮影・断面図を作成し、調査を終了した。



第23図 虫取遺跡 第2地点掘削位置図



第24図 虫取遺跡 第2地点 西壁断面図

### 第 3 地点 (我孫子215 調査番号9219)

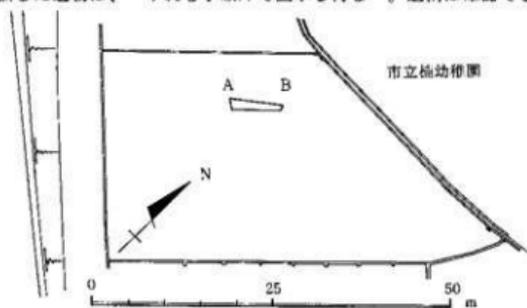
虫取遺跡の中央よりやや東に位置し、南側では中池に、北側では市立幼幼幼稚園に接する。今回は、当該地で共同住宅建設工事が予定されたため、それに先立ち調査を実施した。

まず、敷地の中央よりやや北側に、重機にて、幅1.1m、長さ6.4m、深さ0.8mの規模で調査坑を掘削し、その後、人力にて壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

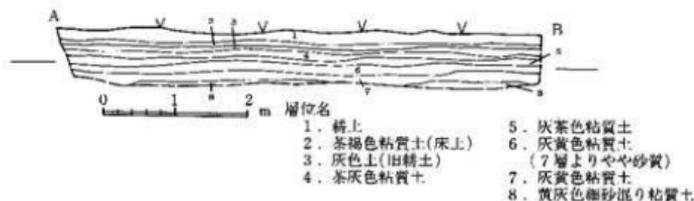
調査坑の層序は、上層から耕土(1層)約15cm、茶褐色粘質土(2層)(床土)約5cm、灰色土(3層)(旧耕土)約5cm、茶灰色粘質土(4層)約10cm、灰茶色粘質土(5層)約7cm、灰黄色砂混じり粘質土(6層)約2cm、灰黄色粘質土(7層)約10cm、黄灰色細砂混じり粘質土(8層)に至る。5層から下層は、灰色を基本とした粘質土で、6層は7層よりやや砂質であるが、境目ははっきりしない。全体にほぼ水平の堆積を示す。

旧耕土下層の茶灰色粘質土(4層)から灰黄色粘質土(7層)までは、遺物包含層で、土師器片及び瓦器片等が確認できるが、検出した遺物は、いずれも小破片で図示し得ない。遺構は確認できなかった。

建物基礎掘削部分は、盛土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第25図 虫取遺跡 第3地点掘削位置図



第26図 虫取遺跡 第3地点 北壁断面図

#### 第 4 地 点 (虫取12-1 調査番号9220)

虫取遺跡の西端に位置し、約100m南側には第1調査地点が、また、約100m北側には、虫取郵便局が存する。

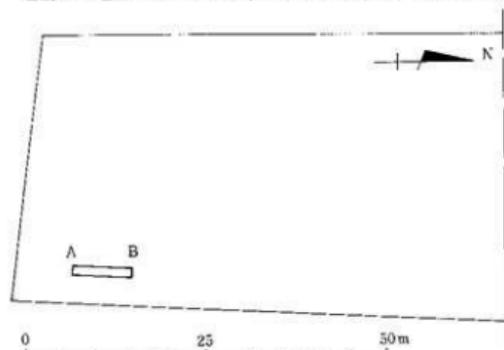
当該地付近は、田畑が広がり、過去に開発工事が行われた形跡はない。田畑表土では土師器片を採取できるが、トレンチ掘りを行うと、遺物を確認できることはほとんどない。

今回は、当該地で倉庫建設工事が予定されたため、それに先立ち調査を実施した。

敷地の東端に、まず重機にて、幅1.2m、長さ8.7m、深さ0.6mの規模の調査坑を掘削し、その後人力にて、壁面及び床面を削り、断面及び床面観察を中心とした調査を実施した。

調査坑の層序は、上部から、耕土(1層)約20cm、茶色土(2層)(床土)約6cm、灰茶色土(3層)約6cm、灰色土(4層)(田耕土)約10cm、黄灰茶色砂泥じり粘質土(5層)に至る。5層に部分的に、黄灰色粘質土(6層)がみられる。5層からわずかであるが湧水がみられる。

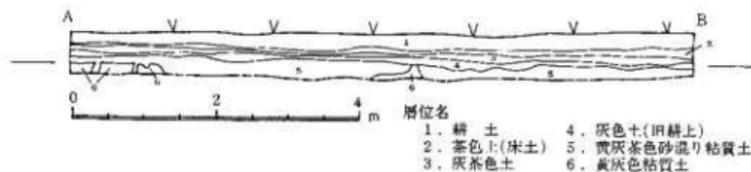
遺構及び遺物は確認できず、建物基礎工事は、約70cmの盛土を行った後、施工されるため、耕



土内におさまるものと思われる。

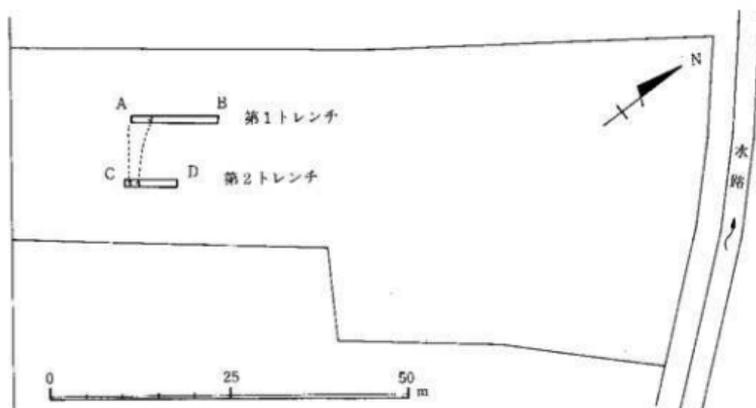
写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。

第27図 虫取遺跡 第4地点掘削位置図



第28図 虫取遺跡 第4地点 西壁断面図

第 5 地点 (虫取81、83-1、池浦62 調査番号9227)

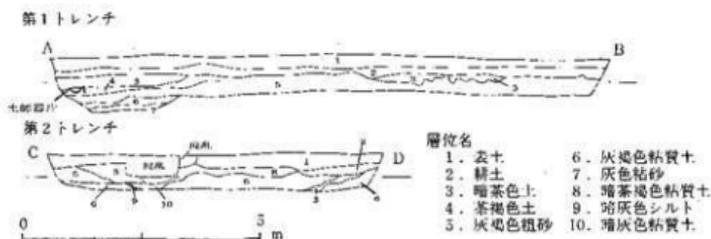


第29図 虫取遺跡 第5地点掘削位置図

虫取遺跡の北端に位置し、約200m東側では第2調査地点が存する。今回は、工場建設工事に先立ち、調査を実施した。

まず敷地の西端に、重機にて、幅0.8m、長さ11.5m、深さ0.8~1.1mの規模の調査坑を掘削し、これを第1トレンチとする。第1トレンチの層序は、表土(1層)約25cm、耕土(2層)約15cm、暗茶色土(3層)平均約20cm、茶褐色土(4層)、灰褐色粗砂(5層)に至る。西側では、5層の下層に灰褐色粘質土(6層)、灰色粘砂(7層)がみられる。3層と4層は土師器を含み、溝状の遺構を形成しているものと思われる。4層は、西側では5層と明瞭に区別できるが、東に行くに従って、5層との境目が不明瞭になる。

溝状遺構の方向を確認するため、第1トレンチの約9m南側に、重機にて、幅0.8m、長さ



第30図 虫取遺跡 第5地点 西壁断面図

7.0m、深さ0.8mの規模の調査区を設定し、これを第2トレンチとする。表土付近で攪乱を受け判然としないが、第1トレンチと同様に3層を埋土とする溝状のものが断面で確認できる。基本的な層序は、表土(1層)約30cm、暗茶褐色粘質土(8層)、灰褐色粘質土(6層)である。東端では灰褐色粗砂(5層)がみられる。いずれの層にも遺物は認められない。

第1トレンチで検出した遺物は小破片で、溝状遺構の時期を決定するに至らないが、敷地内をほぼ東西に横切るものと思われる。

トレンチ内部の堆積は、全体に砂っぽく、外に遺構を確認することができないため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。

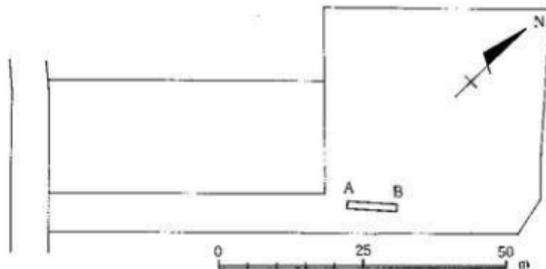
## 第6地点 (我孫子230-2、-3、231-1 調査番号9230)

虫取遺跡のほぼ中央に位置する。貸し倉庫建設工事に先立つ調査である。

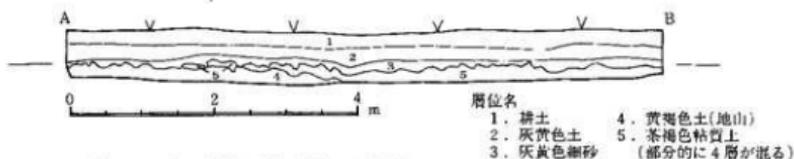
敷地の東端に、重機にて、幅1.2m、長さ8.3m、深さ0.7mの規模の調査坑を掘削し、その後人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

調査坑の層序は、上層から耕土(1層)約20cm、灰黄色土(2層)12~26cm、灰黄色細砂(3層)約10cm、で南側では3層の下層は黄褐色土(4層)(地山)に至る。北側では地山は下降し、茶褐色粘質土(5層)がみられるが、5層上面は隆起がみられ、この層にも部分的に4層が含まれる。

5層中にわずかに遺物片がみられるが、遺構は確認できない。耕土内に建物基礎部分がおさまるため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



第31図 虫取遺跡 第6地点 掘削位置図



第32図 虫取遺跡 第6地点 北壁断面図

#### 4 板原遺跡



第33図 板原遺跡調査地点図 (1 : 5,000)

#### 第 1 地点 (我孫子626、627 調査番号9204)

板原遺跡の北西に位置する。約110m東では、国道26号線と接する。今回の調査は、倉庫建設工事に先立ち行われたものである。

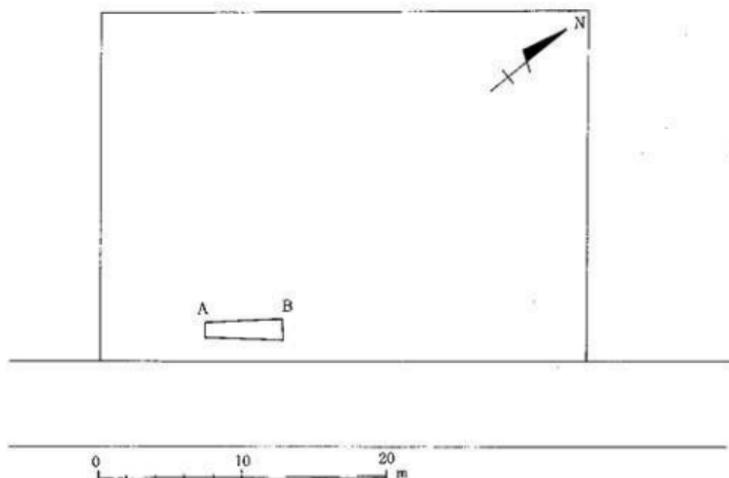
まず、敷地の南端に、幅1.1~1.5m、長さ5.4m、深さ1.5mの規模の調査坑を重機にて掘削し、その後、人力で壁面を削り、断面観察を実施する。

調査坑はすべて盛土(1層)で、遺物及び遺構は認められなかった。盛土は、区画整理時になされたものと思われる。

建物基礎掘削部分は盛土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。

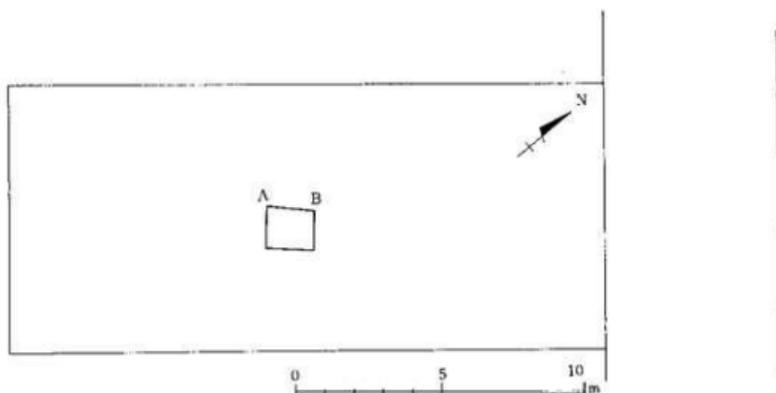


第34図 板原遺跡 第1地点 南壁断面図



第35図 板原遺跡 第1地点掘削位置図

第 2 地 点 (我孫子608-2 調査番号9213)



第36図 板原遺跡 第2地点掘削位置図

当遺跡の北西端に位置する。作業場付き住宅建設工事に先立つ調査である。

敷地の南端に重機で、幅1.0m、長さ1.4m、深さ1.1mの規模の調査坑を掘削し、その後、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

調査坑の層序は上部から、盛土(1層)約75cm、旧耕土(2層)平均約9cm、黄灰色土(3層)約3

cm、灰黄色土(4層)約3cmで、灰黄色粘質土(5層)に至る。層位はいずれも、ほぼ水平に堆積している。

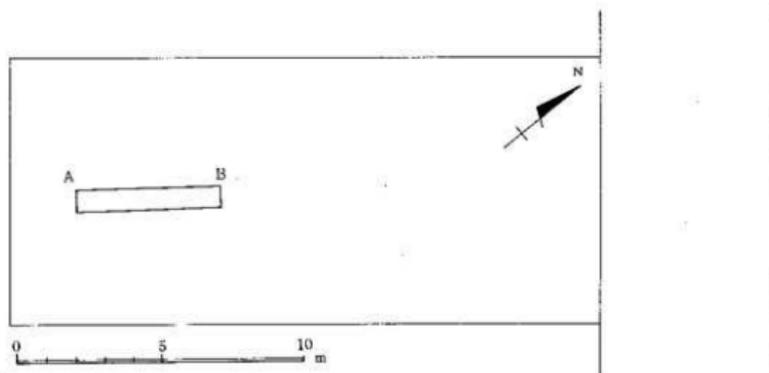
遺構及び遺物は認められず、建物基礎掘削深度は約80cmとなっているため、写真撮影・断面図を作成し、調査を終了とした。



- 層位名
1. 盛土
  2. 旧耕土
  3. 黄灰色土(床土)
  4. 灰黄色土
  5. 灰黄色粘質土

第37図 板原遺跡 第2地点 西壁断面図

### 第 3 地 点 (我孫子608-1 調査番号9214)



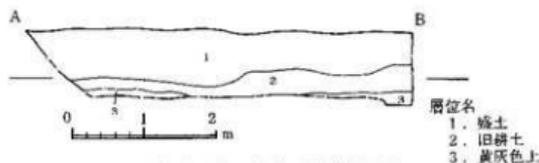
第38図 板原遺跡 第3地点掘削位置図

第2調査地点の東隣に位置する。工場付き住宅建設工事に先立つ調査である。

敷地の中央よりやや南寄りに幅0.7m、長さ4.7m、深さ0.9mの規模の調査坑を設定し、人力で壁面を削り、断面観察を実施する。

調査坑の層序は、盛土(1層)45~70cm、旧耕土(2層)15~35cmで、黄灰色土(3層)に至る。黄灰色土上面には、土地区画整理時の重機の爪痕が残されていた。黄灰色土中から、磨耗した土師器片を検出した。

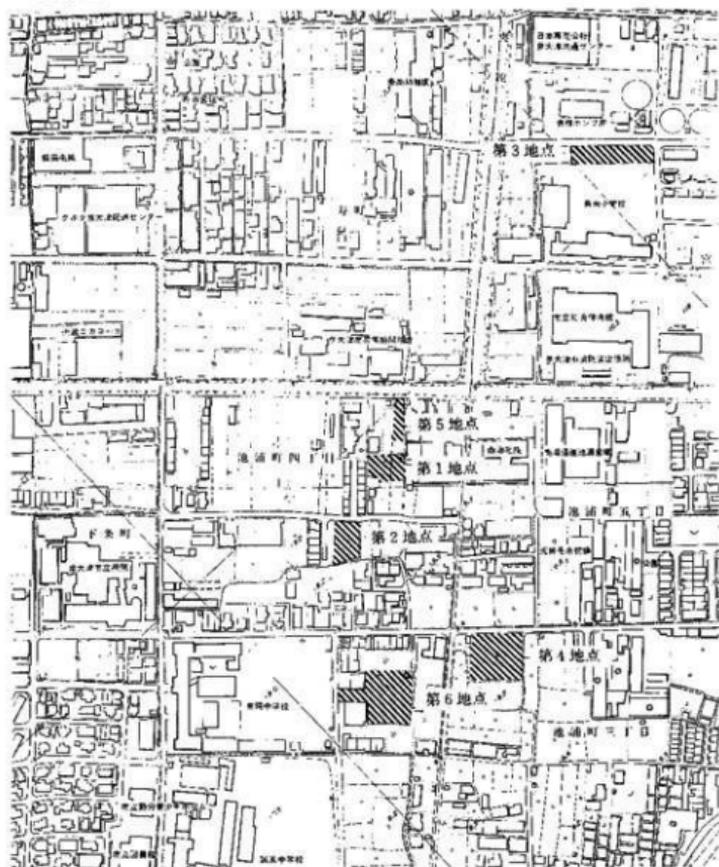
遺構は確認できず、建物基礎掘削深度は、約80cmとなっているので、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



- 層位名
1. 盛土
  2. 旧耕土
  3. 黄灰色土

第39図 板原遺跡 第3地点 西壁断面図

## 5 池浦遺跡

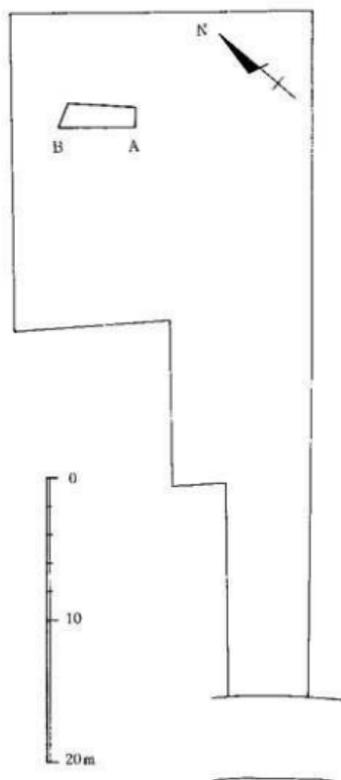


第40図 池浦遺跡調査地点図 (1:5,000)

### 第 1 地点 (池浦町4丁目315-8 調査番号9208)

前年度は当遺跡内での調査は皆無であったが、本年度は、6地点で実施し、6件中5件が工場及び共同住宅の建設に先立つ調査であった。また、調査地点は、都市計画道路南海中央線沿いに集中しており、道路の全線開通に伴い、調査件数は増加していくものと思われる。

今回は、当遺跡の中央よりやや東で、工場建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施し



第41図 池浦遺跡 第1地点掘削位置図

た。

まず、重機にて、敷地の北端に幅1.7m、長さ5.2m、深さ0.7mの規模の調査坑を掘削し、その後、人力にて壁面を削り、断面観察による調査を実施する。

調査坑の層序は、上層から、耕土(1層)約20cm、茶灰色砂質土(2層)(床土)約6cm、黄灰色砂質土(3層)約6cm、黄灰色シルト(4層)約6cm、と続き黄灰色粘質土(5層)に至る。ほぼ水平な堆積を示す。

黄灰色粘質土(5層)から、土師器片・瓦器片等を検出したが、いずれも小破片で図示し得ない。

建物基礎部分は、盛土内におさまることを確認して、調査を終了した。



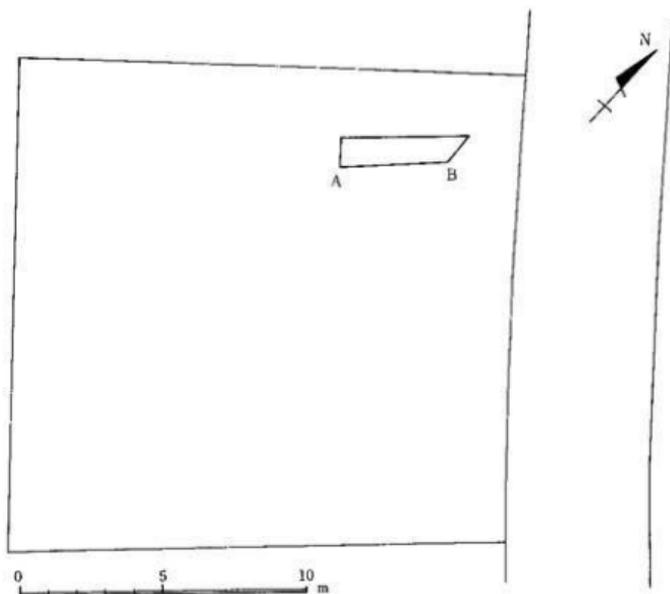
第42図 池浦遺跡 第1地点 西壁断面図

## 第2地点 (池浦町4丁目272-3 調査番号9209)

当遺跡の南部分に位置し、約90m西には、第1調査地点が、また、約160m東には、都市計画道路南海中央線が存する。

今回は、当調査地点で個人住宅建設が予定された。木造の個人住宅ではあるが、建物基礎部分が約1.0mと深いため、工事に先立ち調査を実施した。

まず重機にて、敷地の北端に幅1.0m、長さ4.4m、深さ0.8~1.3mの規模の調査坑を掘削し、その後、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とする調査を実施する。

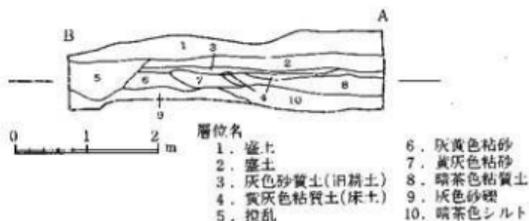


第43図 池浦遺跡 第2地点掘削位置図

調査坑の層序は、上部から、礫土(1層及び2層)平均約30cm、灰色砂質土(3層)(旧耕土)約8cmがほぼ水平に堆積する。3層の下層は、黄灰色粘質土(4層)(床土)約8cmが堆積するが、一部途切れている箇所もあり、削平されているものと思われる。調査区の東端では、1層直下から9層まで達する攪乱(5層)がみられる。以下4層の下層は、東から、灰黄色粘砂(6層)平均約20cm、黄灰色粘砂(7層)平均約20cm、暗茶色粘質土(8層)平均約25cm、といった灰色を基調とした粘砂及び砂礫層の地積がみられ、これらの層からは、湧水がある。6～8層の下層は、灰色砂礫(9層)、暗茶色シルト(10層)に至る。

暗茶色シルトから土師器片を検出したがいずれも小破片で図示し得ない。

遺構も確認できなかったため、写真撮影及び断面図を作成して終了した。



第44図 池浦遺跡 第2地点 南壁断面図

### 第 3 地 点 (宮町29-1 調査番号9211)

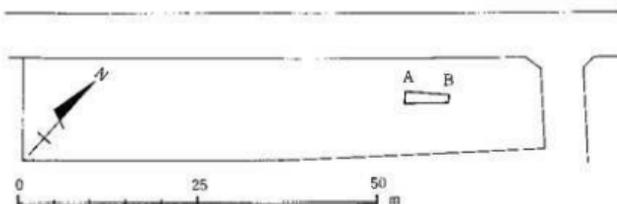
当遺跡の南東端に位置し、南側で市立条南小学校に、約120m西側では、南海中央線にそれぞれ接する。

当調査地点は、畑地で、耕作が行われており本調査であったが、今回は当調査地点で工場建設が予定されたため、それに先立ち調査を実施した。

敷地の東端に重機にて、幅1.0~2.0m、長さ6.0m、深さ0.7mの規模の調査坑を掘削し、人力で壁面を削り、断面観察を実施する。

層序は上層から、耕土(1層)約16cm、茶灰色粘質土(2層)(床土)約6cm、茶灰色シルト(3層)約12cm、黄灰色シルト(4層)約10cm、黄灰色粘質土(5層)に至る。層位は、ほぼ水平の堆積を示す。

黄灰色シルトから土師器片・瓦器片を検出したが、遺構は確認できず、建物基礎掘削深度は約65cmと浅いため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



第45図 池浦遺跡 第3地点掘削位置図

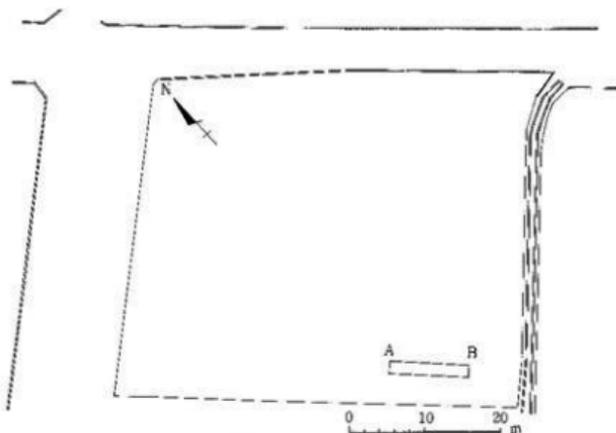


第46図 池浦遺跡 第3地点 北壁断面図

### 第 4 地 点 (池浦町3丁目190-1 調査番号9218)

当遺跡の南端に位置し、東側では、都市計画道路南海中央線と接する。今回は、当調査地点で共同住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。

敷地の南端に重機にて、幅1.3m、長さ11.5m、深さ0.8mの規模の調査坑を掘削し、その後、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とする調査を実施した。



第47図 池浦遺跡 第4地点掘削位置図



第48図 池浦遺跡 第4地点 北壁断面図

調査坑の層序は、上層から耕土(1層)平均約20cm、茶灰色土(2層)(床土)約15cm、茶灰色シルト(4層)約15cm、茶灰色微砂(5層)平均約24cm、で灰色微砂(6層)に至る。

遺構及び遺物は確認できない。2層の床土直下では、一部分粘土層がみられるが、その外は砂層がみられる。調査坑での最下層以下も砂層が続くものと思われる。

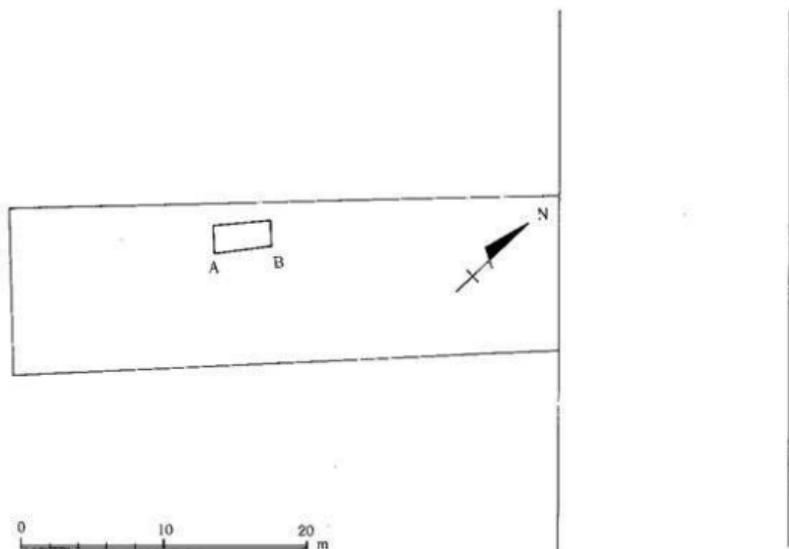
写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。

## 第 5 地 点 (池浦町4丁目133-3 調査番号9221)

当遺跡の中央よりやや東に位置し、北面では、泉大津中央線に接する。西隣は第1調査地点が存在する。

今回は、当調査地点で、事務所建設工事が予定されたため、それに先立ち調査を実施した。

まず敷地のほぼ中央に、重機にて、幅1.9m、長さ4.0m、深さ1.1mの規模の調査坑を掘削し、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

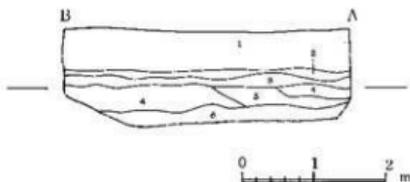


第49図 池浦遺跡 第5地点掘削位置図

調査坑の層序は、上層より、盛土(1層)約50cm除去後、黒灰色土(2層)(耕土)約10cm、茶褐色土(3層)(床土)約14cm、とほぼ水平の堆積がみられる。以下、茶褐色粗砂(4層)平均約26cm中に一部、茶褐色粘質土(5層)がみられる。茶褐色粗砂は、直径5.0cm程度の円礫を多く含む。4層及び5層の下層は、褐色粗砂(6層)至る。褐色粗砂は、部分的に褐色粘質土を含む。

茶褐色粗砂は、土師器をわずかに含むが、いずれも磨耗しており、図示し得ない。遺構は確認できなかった。

建物基礎部分は、床上内におさまるため写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



層位名

1. 盛土
2. 黒灰色土(耕土)
3. 茶褐色土(床土)
4. 茶褐色粗砂(直径5.0cm程度の円礫多く含む)
5. 茶褐色粘質土
6. 褐色粗砂(部分的に褐色粘質土を含む)

第50図 池浦遺跡 第5地点南壁断面図

## 第 6 地 点 (池浦町 4 丁目 183-5、184 調査番号 9231)

当遺跡の南端に位置する。  
東では、市立東陽中学校と接し、約 100 m 西側には、第 4 調査地点が存在する。

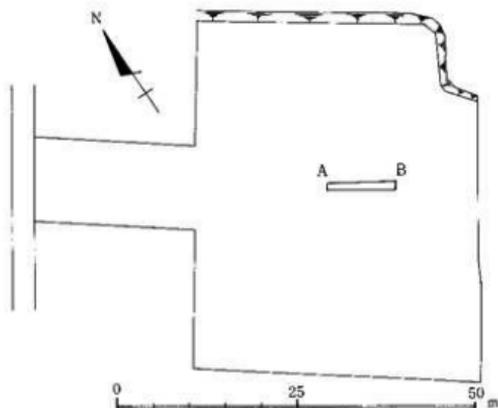
今回は、当調査地点で共同住宅の建設が予定されたため、それに先立ち調査を実施した。

敷地の中央よりやや東に幅 0.9~1.1 m、長さ 9.2 m、深さ 0.7 m の規模の調査坑を重機で掘削し、その後、人力で壁面および床面を削り、断面・床面観察を中心に調査を実施した。

調査坑の層序は、上層から、耕土(1層)約 20cm、茶灰色土(2層)(床土) 6~14cm、黄灰色粘質土(3層) 10~20cm、灰色粘質土(4層)約 10cm、と続き、黄茶色粘質土(5層)に至る。黄茶色粘質土の下層は、灰色微砂が認められる。灰色粘質土(4層)の上面は、わずかに隆起がみられ、部分的に、上層の黄灰色粘質土との境目が不明瞭な箇所がみられる。それ以外の層は、ほぼ水平に堆積がみられる。

灰色粘質土(5層)は、磨滅した土師器片を含むが、遺構は認められない。遺物も小破片で図示し得ない。

建物基礎部分も浅いため、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。

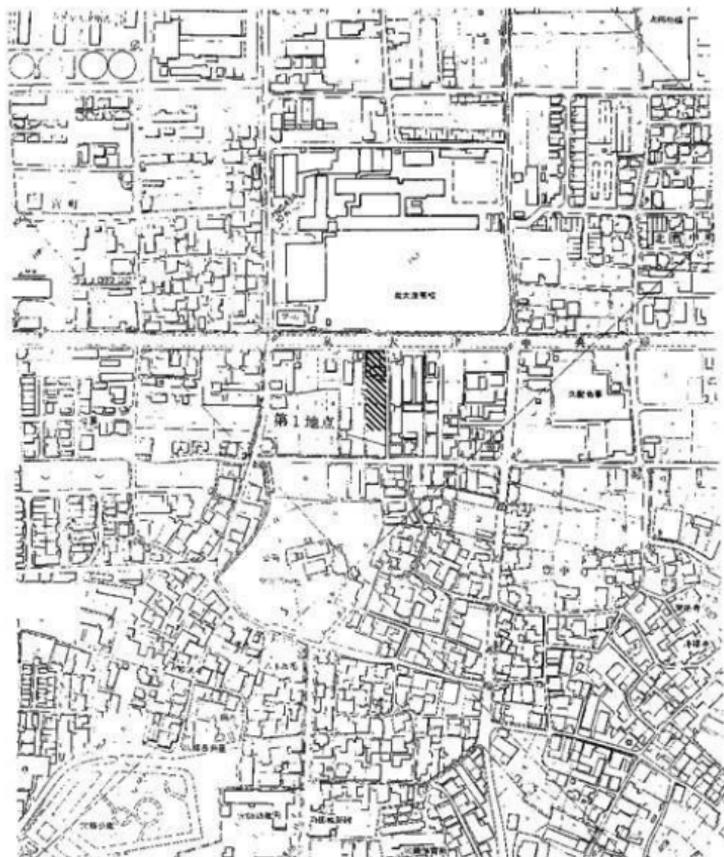


第51図 池浦遺跡 第6地点掘削位置図



第52図 池浦遺跡 第6地点 北壁断面図

## 6 穴師遺跡



第53図 穴師遺跡調査地点図 (1 : 5,000)

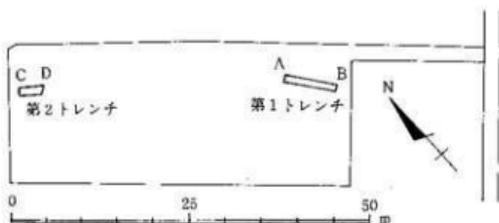
### 第 1 地点 (豊中663-1の一部 調査番号9215)

当遺跡は、半径が約200mと狭く、そのほとんどが泉穴師神社の敷地であるため、ここ数年は調査に至ることがなかったが、泉大津中央線沿いには、畑地等が比較的多く残るため、本年度は当調査の外に、原因者負担の調査も実施した。

今回の調査地点は当遺跡の東端に位置し、約120m南では泉穴師神社に、北では泉大津中央線

に接する。又、同線の北には、府立泉大津高校が存する。共同住宅建設工事に先立つ調査である。

まず、敷地の東端に重機にて、幅0.8m、長さ7.1m、深さ0.4mの規模の調査坑を掘削し、これを第1トレンチとする。



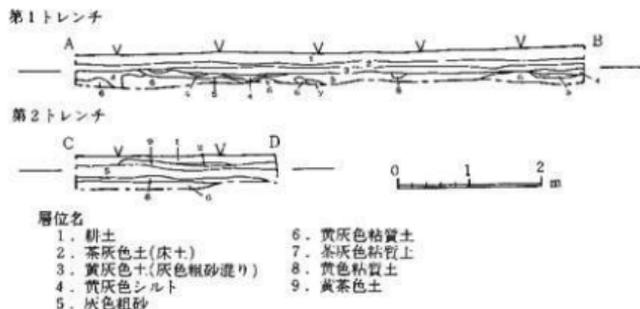
第54図 穴師遺跡 第1地点掘削位置図

敷地が東西に長いので、続いて、西端にも調査区を同じく重機で設定し、第2トレンチとする。規模は、幅1.0m、長さ2.8m、深さ0.5mに設定する。

第1トレンチの層序は、上部から、耕土(1層)約14cm、茶灰色土(2層)(床土)約8cm、黄灰色土(3層)約10cm、までは、ほぼ水平に堆積がみられる。3層は灰色粗砂が混じる。3層以下は、灰色粗砂(5層)がトレンチ中央部分のみられ、両端は、黄灰色粘質土(6層)がみられる。5層中に黄灰色シルト(4層)・茶灰色粘質土(7層)・黄色粘質土(8層)がブロック状に認められる。

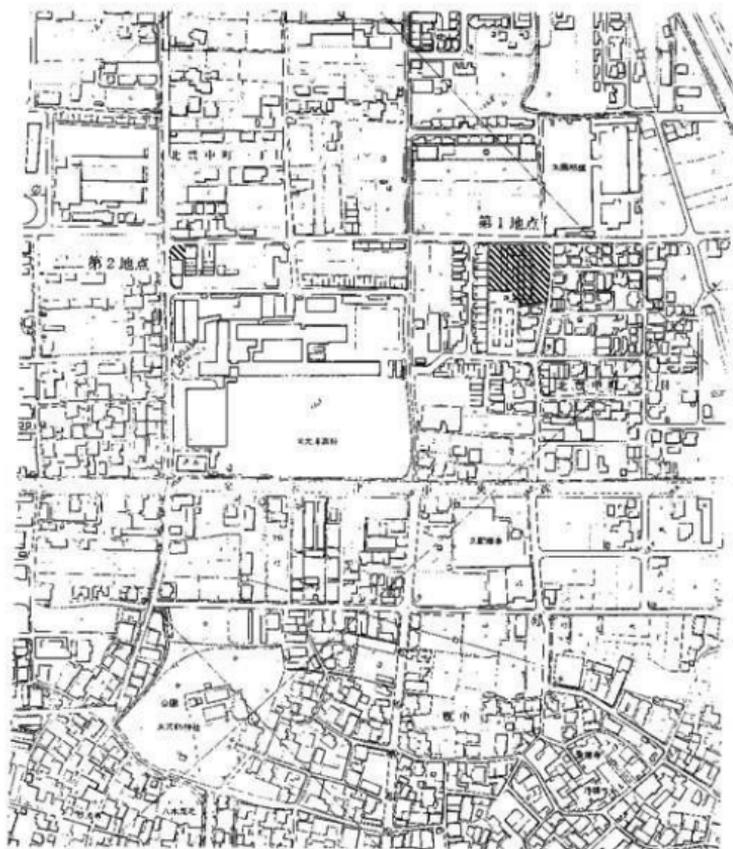
第2トレンチの層序は、耕土(1層)約10cm、茶灰色土(2層)(床土)約4cm、までは第1トレンチと同様であるが、2層は部分的に残るだけで削平されているようである。2層の床土以下、黄茶色土(9層)平均約4cm、灰色粗砂(5層)約14cm、黄色粘質土(8層)約4cm、で、黄灰色粘質土(6層)に至る。ほぼ水平の堆積を示す。

第1トレンチ、第2トレンチともに遺構・遺物は検出されず、建物基礎部分もほぼ床土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第55図 穴師遺跡 第1地点 北壁断面図

## 7 七ノ坪遺跡



第56図 七ノ坪遺跡調査地点図 (1 : 5,000)

### 第 1 地点 (北豊中町2丁目510-1、512-1の一部 調査番号9206)

七ノ坪遺跡の本年度の届出件数は、6件と少なくその内半数は、個人住宅建設関連の工事である。個人住宅建設工事は、建物基礎部分が浅く、盛土内でおさまることが多いため、調査に至ることはあまりない。前年度は調査がなかったが、本年度は、事務所付き貸し倉庫及び店舗付き住宅の建設が予定されたため工事に先立ち2件の調査を実施した。

本調査地点は、七ノ坪遺跡の東端に位置し約200m西には、府立泉大津高校が存する。

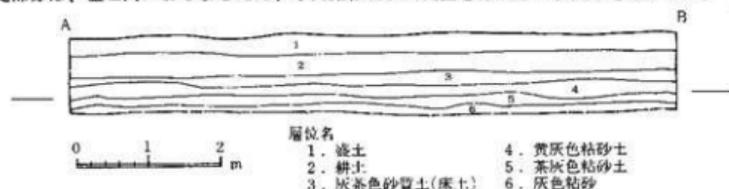
今回は、事務所付き貸し倉庫建設が予定されたため工事に先立ち調査を実施した。

敷地のほぼ中央に、重機で、幅0.8m、長さ8.5m、深さ1.1mの規模の調査坑を掘削し、続いて、人力で、壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

調査坑の層序は、上層から、盛土(1層)約24cm、耕土(2層)約30cm、灰茶色砂質土(3層)(床土)約15cm、黄灰色粘砂土(4層)約16cm、茶灰色粘砂土(5層)約10cm、で、ほぼ水平に堆積し、灰色粘砂(6層)に至る。

灰色粘砂(6層)から、土師器片をわずかに検出したが、遺構は確認できなかった。

敷地は前面道路より落ち込んでいるため、全体に盛土を行った後、工事が施工される。建物基礎部分は、盛土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



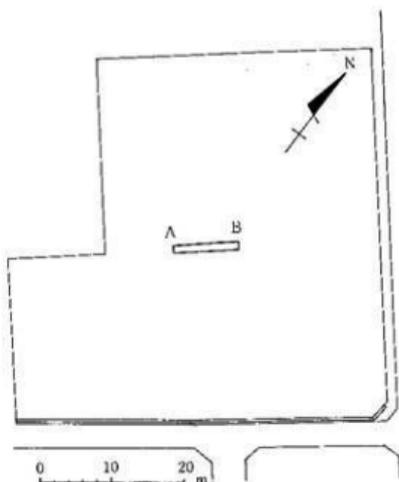
第58図 七ノ坪遺跡 第1地点 南壁断面図

## 第 2 地点 (北豊中町1丁目612-4 調査番号9223)

当遺跡の北端に位置し、約250m東には、第1調査地点が存する。

今回は、店舗付き住宅建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。

まず、敷地の西端に、幅1.0m、長さ4.6m、深さ1.1mの規模の調査坑を重機で掘削し、続いて、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

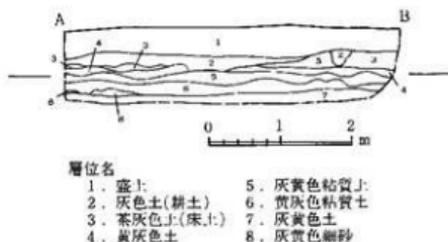


第57図 七ノ坪遺跡 第1地点掘削位置図

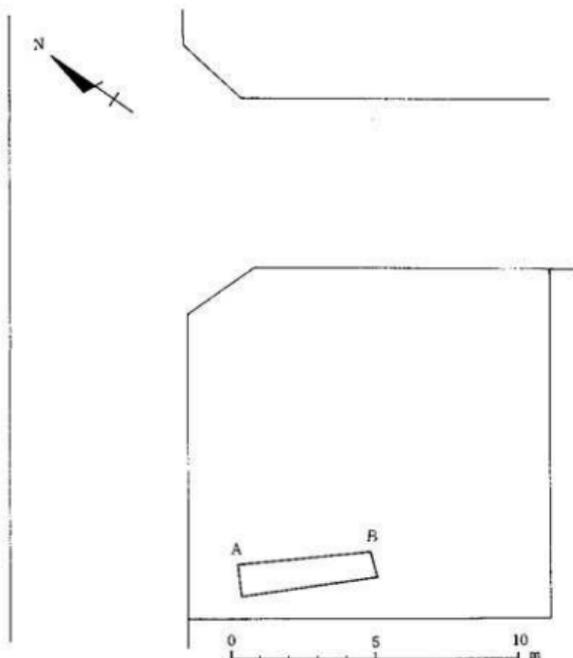
調査坑の基本的な層序は、盛上(1層)約40cm、灰色土(2層)(旧耕土)平均約20cm、茶灰色土(3層)(床土)平均約10cm、黄灰色土(4層)約10cmと堆積するが、灰色土(旧耕土)及び、茶灰色土(床土)は部分的にみられ、削平されているものと思われる。黄灰色土も調査区の間端で見られるが、上層の茶灰色土(床土)とは、あまり明瞭に区別ができない。4層以下の堆積は、灰黄色粘質土(5層)約12cm、黄灰色粘質土(6層)約20cm、と続き、灰黄色土(7層)に至る。調査坑の東端で5層と6層の上面がやや隆起しているが、それ以外は、ほぼ水平に堆積する。調査坑の西端で、一部黄灰色粘質土中に灰黄色細砂がブロック状にみられる。

黄灰色土(4層)と黄灰色粘質土(6層)は、遺物包含層で、土師器片をわずかに検出したが、いずれも小破片で図示し得ない。遺構は確認できなかった。

建物基礎部分も約50cmで、旧耕土内におさまるため、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。

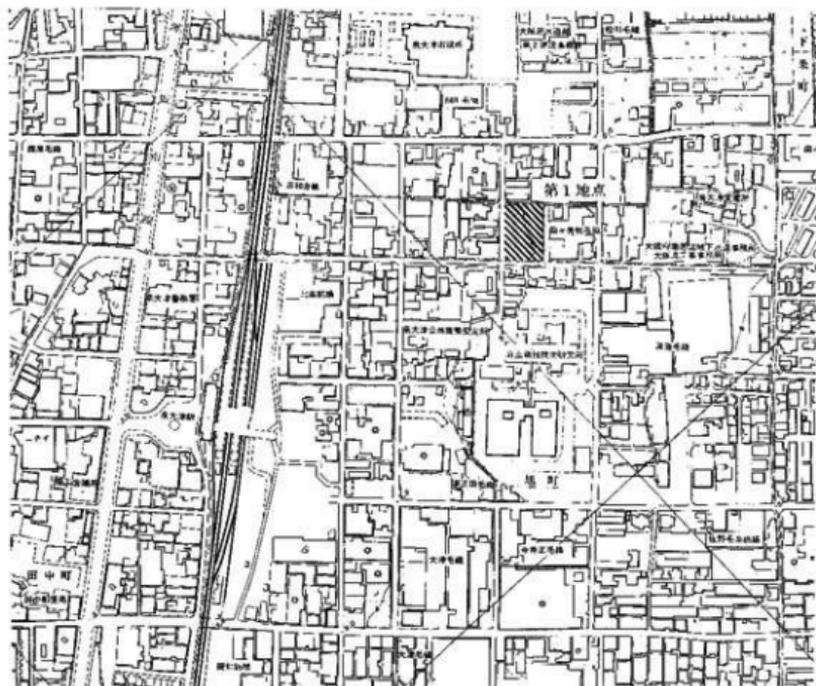


第59図 七ノ坪遺跡 第2地点 南壁断面図



第60図 七ノ坪遺跡 第2地点掘削位置図

## 8 東雲遺跡



第61図 東雲遺跡調査地点図 (1:5,000)

### 第 1 地点 (東雲町72-1、72-2 調査番号9222)

東雲遺跡の本年度の届出件数は、11件であるが、9件は個人住宅に関連する工事である。

前年度は当遺跡の調査は1件もなく、一昨年度もわずかに1件と、付近の宅地化のため、調査を実施する機会があまりない遺跡である。

本年度は、遊技場建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施することとなった。

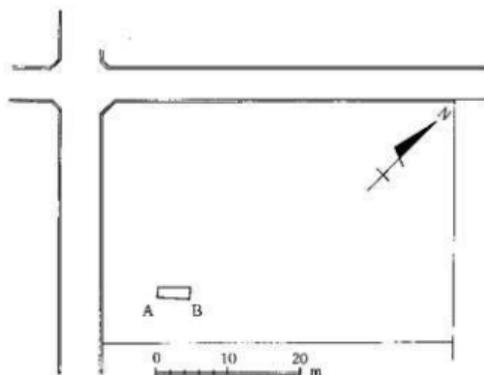
調査地点は、当遺跡の東端に位置し、約400m西には南海本線が、また、約200m東には、大阪府南部流域下水道事務所が存する。当事務所やその東隣では、建設工事に先立ち発掘調査が実施され、古墳時代前期の堅穴住居址及び中世の掘立柱建物が確認されている。今回もそれらに関連する遺構あるいは、遺物の存在が予想された。

敷地の南端に、幅1.5m、長さ5.0m、深さ1.4mの規模の調査坑を重機で掘削し、その後、人力で、壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とした調査を実施した。

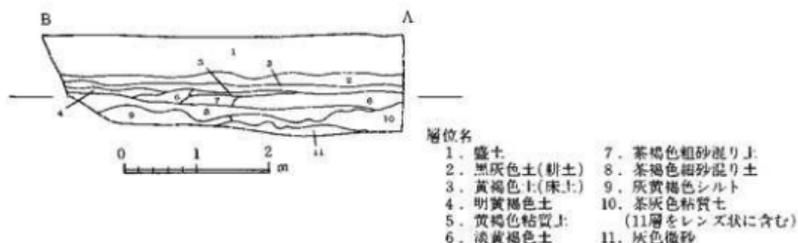
調査坑の層序は、盛土(1層)約60cm、黒灰色土(2層)(粘土)約10cm、黄褐色土(3層)(床土)約10cm、までは、水平に堆積がみられる。以下、調査坑の中央部に黄褐色粘質土(5層)約4cm、東側には明黄褐色土(4層)約6~10cmがみられる。4層の西は淡黄褐色土(6層)が平均約18cmの幅で調査坑の西端までみられるが、中央部で茶褐色粗砂混じり土(7層)約12cmを挟むように堆積している。4層~7層までは、黄褐色を基本とした上層である。以下、茶褐色細砂混じり土(8層)平均約15cm、が全体にみられ、8層以下は東から、灰黄褐色シルト(9層)、茶灰色粘質土(10層)が堆積し、灰色微砂(11層)に至る。9層及び10層上面はゆるやかな起伏がみられ、10層は、11層の灰色微砂をレンズ状に含んでいる。8層~11層は、灰色を基調とした粘土層あるいは、砂層で、ところどころ攪乱を受けているようである。

遺構・遺物は確認できなかった。遺構の中心は、前述した地域にあるようで、遺跡の東端は、当調査地点よりまだ東に位置していると思われる。

写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第62図 東雲遺跡 第1地点掘削位置図



第63図 東雲遺跡 第1地点南壁断面図

圖

版



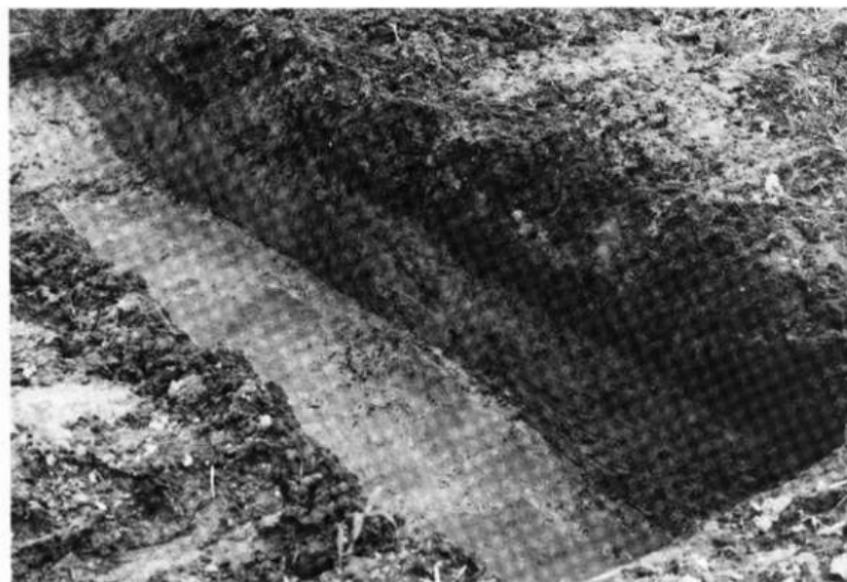
池上曾根遺跡第1地点調査坑



池上曾根遺跡第2地点調査坑



豊中遺跡第1地点調査坑



豊中遺跡第2地点調査坑



豊中遺跡第3地点調査坑



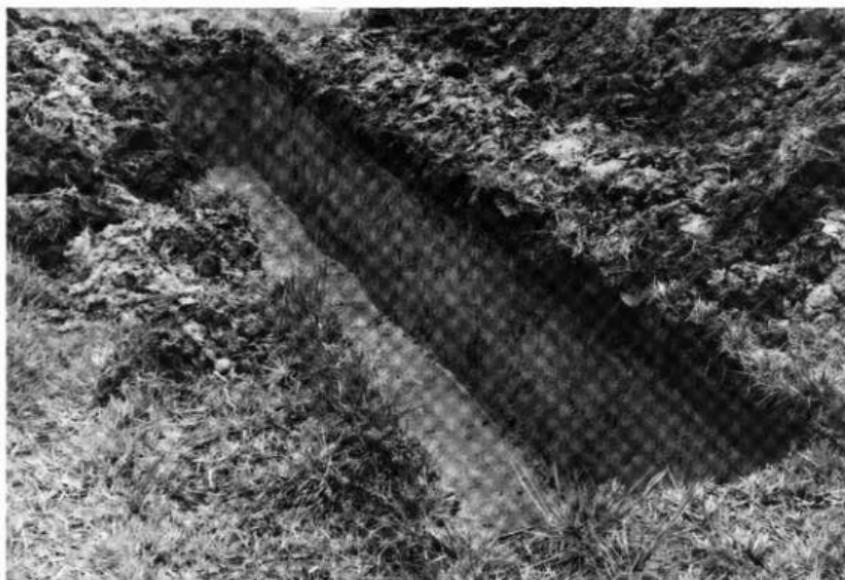
豊中遺跡第4地点調査坑



豊中遺跡第5地点調査坑



豊中遺跡第6地点調査坑



虫取遺跡第1地点調査坑



虫取遺跡第2地点第1トレンチ



虫取遺跡第3地点調査坑



虫取遺跡第4地点調査坑



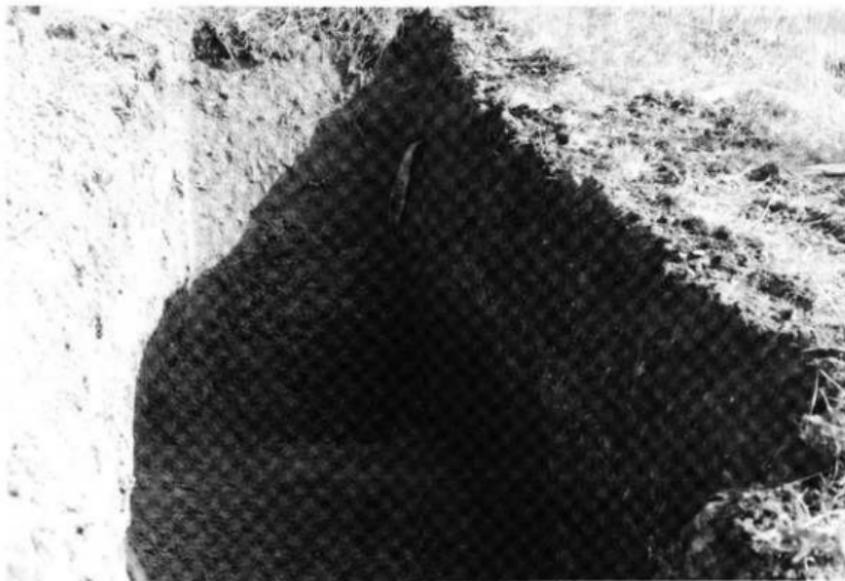
虫取遺跡第5地点第1トレンチ



虫取遺跡第5地点第2トレンチ



虫取遺跡第6地点調査坑



板原遺跡第1地点調査坑



板原遺跡第2地点調査坑



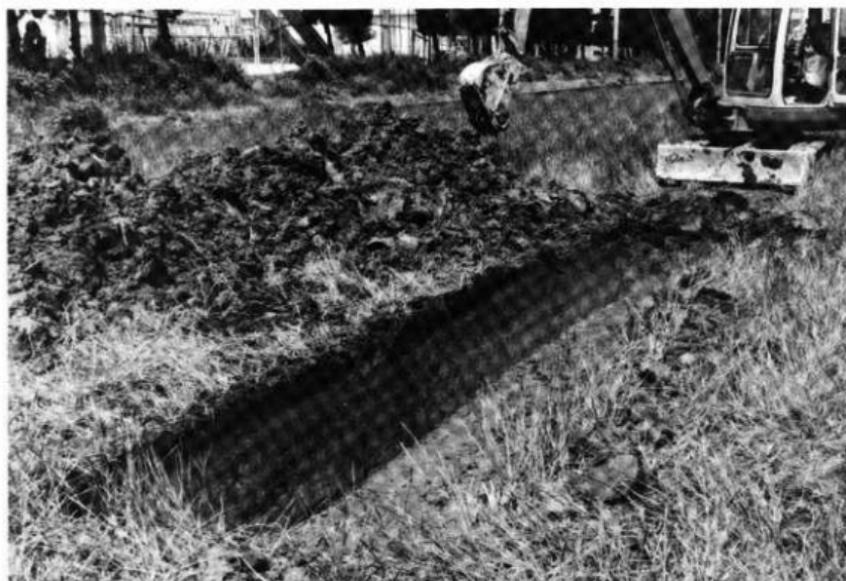
板原遺跡第3地点調査坑



池浦遺跡第1地点調査坑



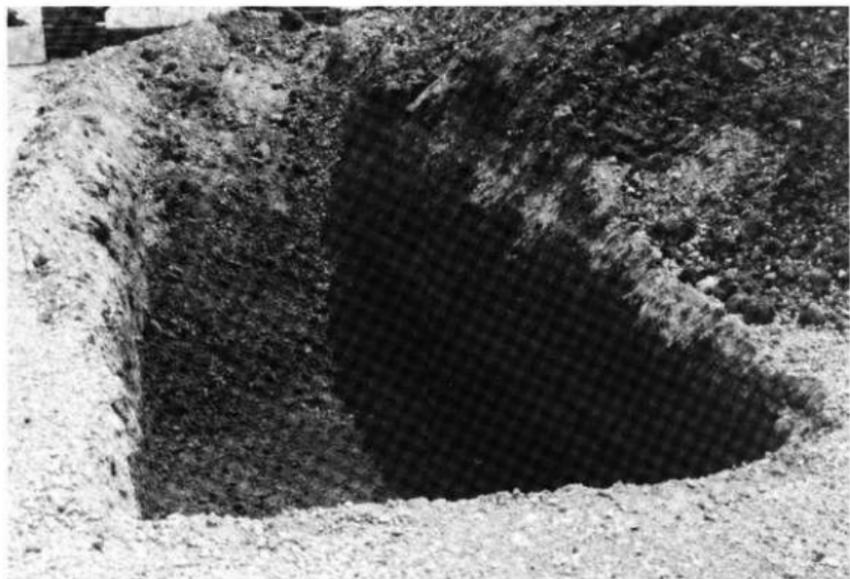
池浦遺跡第2地点調査坑



池浦遺跡第3地点調査址



池浦遺跡第4地点調査址



池浦遺跡第5地点調査坑



池浦遺跡第6地点調査坑



穴師遺跡第1地点第1トレンチ



穴師遺跡第1地点第2トレンチ



七ノ坪遺跡第1地点調査坑



東雲遺跡第1地点調査坑

泉大津市文化財調査報告23  
泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報11

1993年3月

発行	泉大津市教育委員会
編集	社会教育課 泉大津市東雲町9番12号
印刷	和泉出版印刷株式会社 和泉市池上町460-33

